

H I R A K U

拓く

令和6年度広報誌

vol.41



1号館(完成予想図) 地域連携センター(1階)

九州栄養福祉大学大学院
九州栄養福祉大学
東筑紫短期大学

筑紫の心

勇氣・親和・愛・知性

教育とは心の畑を耕すことあります。

とすれば草を生い茂る狭隘して瘦せ

細い心の畑の草をむり肥料をつかい

新芽も芽を伸ばしていつか心に教育の

使命があります。

東筑紫学園の建学の精神は教職員

学生生徒が心とひらいて勇氣親和

愛知性の四つの芽を心の畑に種蒔き育て

いくつもあります。

筑紫の心は國を愛し労働をいとわず親や

祖先とあがめこれをもむくとして社会に奉仕

する人間像を理想としています。

学園長 宇城信五郎

東筑紫学園沿革

八十九年のあゆみ

- 昭和11年3月 筑紫洋裁女学院を創立。
- 昭和18年11月 財団法人東筑紫技芸女学校創立。理事長、校長に宇城信五郎就任。
- 昭和22年3月 財団法人東筑紫技芸女学校を財団法人東筑紫学園に改称する。理事長に宇城力子就任。
- 昭和22年3月 専門学校令による東筑紫女子専門学校を設置し、校長に宇城力子就任。
- 昭和22年4月 学制改革により東筑紫技芸女学校が東筑紫女子中学校となる。
- 昭和23年3月 東筑紫高等学校を設置し、校長に宇城力子就任。
- 昭和25年3月 東筑紫短期大学設立、被服科設置、学長に友枝高彦就任。
- 昭和25年8月 理事長に宇城信五郎就任。
- 昭和26年3月 財団法人東筑紫学園を改め学校法人東筑紫学園とする。理事長に宇城信五郎就任。
- 昭和26年4月 東筑紫短期大学開学により東筑紫女子専門学校を発展的に廃止。
- 昭和26年9月 東筑紫短期大学開学により東筑紫女子専門学校を発展的に廃止。
- 昭和27年11月 初代学長友枝高彦辞任し、後任に宇城信五郎就任。
- 昭和29年4月 短期大学に保育科増設。
- 昭和31年11月 創立二〇周年記念式典挙行。
- 昭和33年3月 講堂完成。
- 昭和33年4月 短期大学に栄養科増設。
- 昭和38年4月 東筑紫高等学校を東筑紫短期大学附属高等学校に、東筑紫女子中学校を東筑紫短期大学附属中学校に、東筑紫幼稚園を東筑紫短期大学附属幼稚園にそれぞれ名称変更。体育館完成。
- 昭和38年5月 短期大学栄養科を食物栄養科に名称変更。
- 昭和41年4月 短期大学被服科を被服専攻と服飾美術専攻に専攻分離。一号館完成。
- 昭和41年5月 創立三〇周年記念式典挙行。
- 昭和44年4月 短期大学被服科を被服専攻と服飾美術専攻に専攻分離。
- 昭和46年4月 学長宇城信五郎辞任し、理事長専任となる。学長に根津菊次郎就任。
- 昭和49年6月 学長に宇城信五郎就任。
- 昭和51年4月 創立四〇周年記念式典挙行、鉄筋4階建記念図書館完成。
- 昭和55年3月 学友会館完成。
- 昭和55年6月 学長に宇城力子就任。
- 昭和56年1月 二号館完成。
- 昭和56年5月 創立四十五周年記念式典挙行。
- 昭和57年1月 学園創立者・理事長宇城信五郎死去。
- 昭和57年2月 理事長に宇城力子就任。
- 昭和60年9月 宇城記念館完成。
- 昭和61年4月 東筑紫短期大学附属中学校を東筑紫学園中学校に名称変更。
- 昭和61年11月 創立五〇周年記念式典挙行。
- 平成元年4月 短期大学被服科を生活文化学科に、保育科を保育学科に、食物栄養科を食物栄養学科にそれぞれ名称変更。
- 平成2年4月 東筑紫学園中学校を照曜館中学校に名称変更。
- 平成3年11月 学長に宇城照曜就任。
- 平成4年4月 創立五十五周年記念式典挙行。
- 平成4年4月 東筑紫短期大学附属高等学校を東筑紫学園高等学校に名称変更。

Contents

学校法人 東筑紫学園

- 02 九州栄養福祉大学
新学部・子ども教育学部、
食物栄養学部内新学科・食環境データサイエンス学科、
令和7年(2025年)設置について(設置認可申請中)
学校法人 東筑紫学園 理事長
九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学 学長 室井廣一

九州栄養福祉大学

食物栄養学部

- 06 杉元康志 学長補佐
大学院・健康科学研究科長
07 渡邊啓一 学部長
08 食物栄養学科 安倍ちか 学科長
09 食物栄養学科 卒業生の声
10 学生活動紹介(地域連携・社会貢献活動)
11 令和5年度 食物栄養学部就職状況報告

リハビリテーション学部

- 12 高橋精一郎 学長補佐
13 石橋敏郎 学部長
14 理学療法学科 廣滋恵一 学科長
15 理学療法学科 卒業生の声
16 作業療法学科 四元孝道 学科長
17 作業療法学科 卒業生の声
作業療法の活躍の場紹介
18 学生活動紹介(地域連携・社会貢献活動)
19 令和5年度 リハビリテーション学部就職状況報告

東筑紫短期大学

- 20 保育学科 寺本普見子 学科長
21 保育学科 卒業生の声
22 食物栄養学科 土谷政代 学科長
23 食物栄養学科 卒業生の声
24 専攻科 寺本普見子 科長
25 専攻科 卒業生の声
26 学生活動紹介(地域連携・社会貢献活動)
27 学園交流・地域交流
28 令和5年度 東筑紫短期大学就職状況報告

その他 案内・報告等

- 地域連携活動報告
31 国際理解研修レポート
34 令和5年度 シニアカレッジ開催報告
35 令和5年度 研究紀要
36 日本リハビリテーション発祥地記念館 見学のご案内
北九州市民カレッジ
37 サークルレポート
38 職員だより
39 北九州ゆめみらいワーク2023 参加報告
40 令和7年度入試日程・オープンキャンパス案内

平成8年10月 創立六〇周年記念式典挙行。
平成10年10月 九州栄養福祉大学、東筑紫短期大学専攻科設置準備室発足。設置準備室長に室井廣一就任。
平成13年2月 二号館完成。
平成13年2月 理事長に宇城照輝就任。九州栄養福祉大学設立、食物栄養学部・食物栄養学科設置。
平成14年4月 学長に宇城照輝就任。東筑紫短期大学学長に室井廣一就任。
平成15年12月 短期大学に専攻科(介護福祉専攻)設置。
平成16年4月 学園創立者宇城力子死去。
平成17年4月 九州栄養福祉大学学長に室井廣一就任。
平成18年4月 九州栄養福祉大学大学院設立。(食物栄養学専攻修士課程)
平成18年12月 短期大学に美容ファッションビジネス学科を設置。
平成19年4月 創立七〇周年記念式典挙行。
平成21年4月 九州栄養福祉大学リハビリテーション大学校を四年制専門学校高度専門士課程に変更。
平成23年4月 九州栄養福祉大学にリハビリテーション学部設置準備室発足。設置準備室長に室井廣一就任。
平成24年4月 九州栄養福祉大学大学院・健康科学研究科に名称変更。
平成26年3月 専門学校九州リハビリテーション大学校閉校。
平成27年2月 認定こども園東筑紫短期大学附属幼稚園設置準備室発足。設置準備室長に室井廣一就任。
平成28年4月 日本リハビリテーション発祥地記念館・九州リハビリテーション大学校記念館館長に室井廣一就任。
平成29年3月 認定こども園東筑紫短期大学附属幼稚園舎完成。
平成29年4月 幼稚園型認定こども園東筑紫短期大学附属幼稚園を開設。
平成30年12月 九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学学生食堂・団体給食実習室棟完成。
平成31年3月 九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学講堂兼体育館完成。
令和3年3月 東筑紫短期大学美容ファッションビジネス学科廃止。
令和4年4月 学校法人東筑紫学園理事長に室井廣一就任。
令和5年5月 九州栄養福祉大学新学部・新学科設置準備室発足。設置準備室長に室井廣一就任。

九州栄養福祉大学

新学部・子ども教育学部 子ども教育学科、

食物栄養学部内新学科・食環境データサイエンス学科

令和7年(2025年)設置について (文部科学省へ設置認可申請中)



室井 廣一
MUROI HIROICHI

新学部・新学科設置準備室 室長
学校法人 東筑紫学園 理事長
九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学 学長

令和6年4月8日付で上記の新学部・新学科について文部科学省のホームページに設置認可申請中として掲載されました。

新設の子ども教育学部
子ども教育学科について

我々は北九州の中心のエリア、若者の街下到達のクロスロードで、東筑紫短期大学保育学科で70年にわたる幼児教育者・保育者養成に務めてきました。卒業生は1万2千8百名を超え地域社会の保育・幼児教育に貢献してきました。我々はこの伝統を持つ東筑紫短期大学保育学科を基盤として、男女共学の子ども教育学

部・子ども教育学科を開設します。そこでは幼稚園教諭一種免許状や保育士資格だけでなく、小学校の教員免許、さらに特別支援学校教諭の免許状も取得できるようにしたいと思います。乳幼児から小学校児童そして特別支援の分野までを包括する教育的視野を持った人材を養成したいと思っております。つまりこれまでの短期大学と四年制大学の両体制で、直面する様々な教育課題に対応し教育の高度化多様化を図っていきたいということでもあります。又、短期大学保育学科の四年制本学部への「3年編入」制度や卒業生のリカレント教育も計画しております。もうすぐ学園創立90年になります。が、いよいよ本学園の建学の精神・筑紫の心・四つの心に基づく教育も、幼児教育・保育から初等教育まで結ぶ段階に来たということでもあります。

この少子化の時代、幼児教育と小学校教育の結び目はとても大切だと思っております。この学部がそういう時代の課題にこたえる地域の教育組織拠点になることを心から祈念しています。

教育施設・設備面では、一号館(地下一階地上六階・一部七階)を全面改装して子ども教育学部と短期大学保育学科が使用、更に隣接している五階建ての旧学生寮を全面改装して保育学科と食環境データサイエンス学科の研究棟にする計画です。尚この研究棟の一階には保育学科の専攻科介護福祉専攻の施設も入りまします。本学の「教育理念・四つの心」が生きている便利で美しいキャンパスを創り上げるつもりです。

新設の食環境データサイエンス 学科とその先導的使命

さて来年はもう一つ新しい食環境データサイエンス学科も設置認可申請中です。これは食物栄養学部を設置されます。今最も注目されているデータサイエンスやAIに関わる勉強をする学科になりますが、本学のデータサイエンスの特色は、食と環境とデータサイエンスを結んだ文字通りの、食環境のデータサイエンスということになります。こういった方向性の学科ができるのは全国でも初めてだと思います。東京の方にも似た学科ができると聞いていますが、少し本学とはコンセプトが異なるのではないかと思えます。本学はあくまでも食環境や食の流通過程に関するビッグデータを処理できる人間を育てたいと思っています。更に、本学はリハビリテーション（理学療法士・作業療法士）と管理栄養士の養成大学なのでこの分野におけるデータサイエンス化は進めていかないといいませんし、設置認可申請中のことも教育学部でもデータサイエンス化は進めていかなければなりません。また短期大学の方にも取り入れていかなければなりません。そういう様々な要望期待を踏まえて応えてい

く先導的使命がこの学科にはありません。それに伴い各学科でもそのような講義・演習が受けられるようにもしていかねばなりません。

食環境データサイエンス学科 設立に助力してくれた二人の キーパーソン

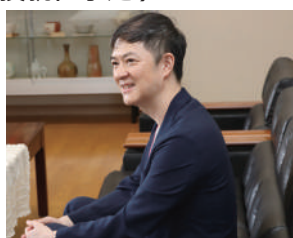
しかし今は来年に向かって取り急ぎこの新しい学科を創り上げることが重要です。しかしながら、いわゆる第四次産業革命時代の最新知識を教育研究する専門家は本学の先生方だけでは到底困難であります。私た

（特別客員教授就任予定）



元株式会社安川電機CTO
(取締役常務執行役員
技術開発部長)

新学部・学科設置準備室 顧問
熊谷 彰氏



OPTiM
日本のIT分野・特許資産個人ランキングNo.1
株式会社オプティム (東証プライム企業)

代表取締役社長
菅谷 俊二氏

ちの力だけではできないので、そういう最新技術を実際に開発してきた人たちの助力や連携が必要になってきます。幸いロボット工学で日本の産業を牽引してきた株式会社安川電機の元CTO、最高技術責任者・熊谷彰氏が定年退職され、北九州に住んでいることもあり本学の設置準備室顧問・開学後は特別客員教授という形でお迎えすることが出来ました。今学科設置の基本的なところを準備していただいています。更にIT関係の特許、発明で日本一と言われる株式会社オプティム（東証プライム上場企業）の菅谷社長が我々の教育理念に賛同してくださり第一線で活躍している専門家を教員に派遣してくれるだけではなく最先端の演習教室の設計、企業実習も受けてくださるといふことになりました。又開学後は特別客員教授に就任して下さるとのことです。我々の新学科構想は大きく前進しました。菅谷社長は一部の人からは日本のエッジソンとも言われ独特の経営哲学を備えたまだ40歳代の新進気鋭の人です。特に、あまり目前の利益にはつながらないような、我が国の食の安全保障、即ち、「日本の農業問題をどうするのかという大難問（アポリア）」に「スマート農業」という視点から相当の情熱

をもってチャレンジしています。雰囲気も社長というより、第四次産業革命時代のパイオニアとでもいえるべき印象です。佐賀大学農学部出身でおそらく日本の農業問題への強烈な関心から、大学の実習農園で種蒔き祭や収穫祭を行い「食の番人」を養成するという教育理念を持った九州栄養福祉大学に関心を持ってくれたのだと思います。



食環境データサイエンス学科設置
に賛同し企業実習や共同研究・地域振興のための地域連携活動に協力提携してくれた約20の地元北九州地域を中心とした食産業・IT関連企業及び団体

我々のこの食環境データサイエンス学科構想には更に又、地元北九州地域を中心とした約20の食産業・IT関連企業及び団体が賛同し学生の企業実習や講師派遣、共同研究並びに地域貢献のために連携協定を結んでくれました。我々の新学科・食環境データサイエンス学科は強い現実構能力を持ってきました。賛同してくれた企業の皆様や地域団体の皆様と交流する「地域連携センター」は一号館一階に設立します。企業実習等も本学で可能な限りできるよう小倉北区キャンパス五号館の設備改装を行っています。実際にはまだ分かりませんが、今担当している教授から聞きますと説明会などしなくてもここを案内して設備を見ていただくだけでも説得力のあるものを造りたいとのことでした。よほど最新の設備を造ってくれているのだろうと思います。(本学科設立には学位授与機構から約4億円の助成金の交付が予定されています。)

九州栄養福祉大学 「KIDS LABO」設置について

尚この他に更に本学前の四つ角、クロスロードを500mほど行くと大きな交差点があります。その交差点にある福岡銀行南小倉支店の跡地をお譲りいただき、この学科の付設ラボラトリー設立も準備中です。南小倉駅から徒歩6〜7分のところで、東筑紫学園中高部入り口の交差点に位置しています。あの場所は四つ角というよりも六つか七つの道が交差し、概ね七差路になっており、英語で言うところのクロスロード(cross road)というよりジャンクション(junction)というところです。このジャンクションと本学の下到津交差点から大体500mほどある通りが私は仮称「スクールクロスロード」になればいいと思っています。実際に、この清水交差点から戸畑区までは幼児教育施設から小学校、中学校、高校、大学が立ち並んでいます。この九州栄養福祉大学食環境データサイエンスラボラトリー(Kyushu nutrition and welfare university AI Innovation and Data Science Lab.)を略した「KIDS LABO.(キッズラボ)」には、バス待ちや電車待ちをする本学生のみなならず高校生達も入館パス(無料配布)を持っている人は誰でも入れるようにしたいと思っています。無論そこにはデータサイエンスの最新機器を備えた学び場を作るつもりです。高校生でも大学生でもそこで勉強でき、デ

ジタルの分野、データサイエンスを学べるという場所を来年中に作り上げたいと思っています。皆さんのデジタルリテラシーを育む仲間がまたかなり増えると思います。

第四次産業革命時代の担い手・ デジタル人材養成の緊急性と インフォメーションギャップ・ 非対称性の危険性

今世界はグローバルな規模でビッグデータがネットを通して結ばれていきます。正に第四次産業革命に突入しています。そこでは多様なデジタル人材が要請されます。一昔前は「読み、書き、そろばん」縫う、織る、染める」が人生を生きる大きな技術でしたが今はデジタルリテラシーを修得し大量のデータを解読し世界と交流していかないと「情報の非対称性」つまりインフォメーションギャップに陥る危険性もあります。

日本経済新聞(令和6年5月24日)は一面トップに「デジタル人材10万人育成」を掲げ、岸田首相はASEAN諸国と共同して今後5年間で10万人の高度デジタル人材育成を目指す」と表明しました。同じく同紙6月9日では日立製作所が2027年をめどにAI人材を5万人育てる方針を明らかにしています。又、皆さんの耳にも入っているかと思いますがTSMCという半導体の大工場が九州の真ん中の熊本にできています。3400人ほどの雇用が必要というのはその会社だけかと思

ます。それを取り巻く関係団体を入れたらばおそらく相当の数になるかと思っています。それだけ多くのデジタル人材が今から必要になってくるのでしよう。私達の地元北九州市では同じく日経新聞(6月22日)によれば日本IBMがAI活用の人工頭脳を活用した(ビジネス・プロセス・アウトソーシング)サービスを始めるとのこと、雇用規模を350人に拡大するとのことであり、北九州市はもとも国際都市として我が国に大きな貢献をしてきた地です。こういう状況の中でこれからもアジア太平洋の中核都市として大きな役割を果たしていくと思います。我々の企画構想する学科は必ず時代が要請する人材養成の拠点になると思います。

新設学部・学科と 90周年から100周年に向かう 東筑紫学園の建学の精神

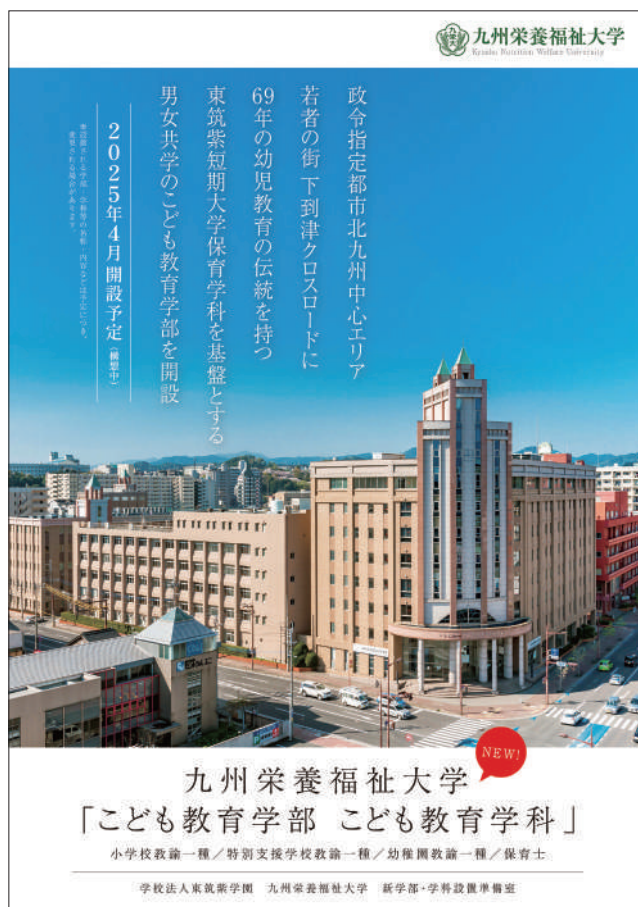
さて、本学はもう10数年で100周年を迎えます。この約90年の学園史で一貫して建学の精神「筑紫の心」・四つの心、四つの生命力の大切さを伝え続けてきました。この四つの心・四つの生命力の均衡の重要性を語ってきました。四つの心とは、「勇氣、親和、愛、知性」のことです。ありますが、以上述べてきたことも教育学部でも食環境データサイエンス学科でも同じく重要なことです。後者の新学科ではデータサイエンス

の新技术を修得する「知性」とそれらを通して世界の人とつながる「親和力」の発動が大切ですが、それらを本当に発動し続けるには、なんといつてもやり続ける主体的勇氣が持続的に発動できなければなりません。そしてそのためには、そういう学びができる自分を育ててくれた両親・祖父母、そして指導してくれる先生方、教材、教室に迄感謝と愛の心を発動できなければなりません。やはり四つの心が重要なのです。4分の1や4分の2の部分的生命力・親和力や知性だけでは本物の学びと人格の形成には行き着けないと思います。情報が氾濫し何が本物が判別しがたい時代、特に本学が提起してきた四つの心の成長と調和を修得し「四つの心・全き心」で最終的には分析判断するという決断姿勢が必要なのです。こども教育学部に進まれ将来教職に就くというような人は特に本学の教育理念・四つの心を修得し本物のこども教育者になってほしいと思います。四つの心を持った教育者になってほしいと思います。本学の提起した教育理念はどの分野に進まれる人にとっても基本的に重要なことなのであります。専門的教科教育と建学の精神に基づく人格教育が「教育過程」の中で結びあっているところが本学の特徴であります。

〔『拓く』本年号・41号に掲載した本論文は、この第2版では若干の加筆訂正を加えております。令和6年6月26日〕

—新学部新学科開設予定— (※設置認可申請中)

こども教育学部 こども教育学科
食物栄養学部 食環境データサイエンス学科



(HP に特設ページ掲載中)

最近の大学を取り巻く状況と本学の取り組みについて



杉元 康志

SUGIMOTO YASUSHI

食物栄養学部 学長補佐
大学院・健康科学研究科長

大学の役割や環境は、大きく変化しています。少子化による止まらない18歳人口の減少が大学に深刻な危機をもたらしています。社会のデジタル化への転換は高度人材養成を担う大学にとって教育体制・内容の見直しを迫られています。ここでは教員や学生に向けて、最近の大学を取り巻く状況や将来について考察してみたいと思います。

まず、最近の大学を取り巻く環境を考える上で注目すべき点は、著しい技術革新と社会の変化です。人工知能やデジタル技術の進歩により、教育の形態や学び方が変わってきています。また、新型コロナウイルス感染症の発生からオンライン授業や遠隔教育の普及により、学生はより柔軟な学習スタイルを選択できるようになってきました。

多様化やグローバル化する社会状況において大学の役割も変化し、社会との連携が重要視され、如何に社会に根ざした大学を創成するかが課題です。本学では昨年度に地域連携センターを設立し、本学が永年培った実践教育の強みを活かして、北九州市をはじめその周辺の地域と連携して学生を交えて活動を組織的に開

始しました。地方の声を聞きながら、地方が抱える諸課題に真摯に向き合っており、提案・実践型の取り組みを進めています。お互いに共通するメリットを見出そうとしています。社会に開かれた大学としての役割が期待されます。さらに行政、教育機関および産業界との連携を推進し、地域社会に貢献できる大学として使命を果たしていく所存です。

一方で、大学の財政や経営状況も課題も年々増え、大きな社会問題になっています。少子化による学生確保が難しいのと国民の教育志向の変化や経費の上昇が大きな要因と推察されます。教育・研究の質を保証することが大学に課せられた使命であることから、教育態勢の見直しや魅力ある大学作りには努力は惜しめません。本学も地域に根ざした魅力ある大学として来年度には新学部として子ども教育部ことも教育学科と食物栄養学に新設を予定し、その準備が着々と進んでいます。70年の歴史と実績を持つ東筑紫短期大学保育科を基盤にして、小学校教諭、特別支援学校教諭や幼稚園教諭および保育士資格が取得できることも教育学科は地域のニーズに応えた特筆すべき学科と思われれます。また、食環境データサイエンス学科は食を取り巻く様々な環境に取り組むことが出来る情報化に対応した人材育成を目指します。トップ企業や地元企業の協力の下、充実した教育組織となっています。管理栄養士の養成に加え、進化するデジタル社会に対応した食物栄養学部を目指します。

大学は単なる知識の伝達機関ではなく、社会の変革を担う存在であると考えます。問題解

決能力や創造性を育むことが求められます。教員や学生が共に学び、研究を進めることで、持続可能な社会の実現に向けて貢献することができると信じています。

本学大学院の状況と改善について

九州栄養福祉大学大学院健康科学研究科長として、教員や学生に向けて、最近の大学院を取り巻く状況や大学院生の将来について考察してみたいと思います。

まず、最近の大学院を取り巻く状況を考える上で注目すべき点は、変化する社会と国際化に対応する態勢です。研究分野はますます多様化し、異なる学問領域や専門分野が交差し合っており、なかなか単独では新たな知見を生み出して行くことが難しくなっています。日本の国力の低下に伴い、研究力も落ちていると言われています。大学院への進学率も頭打ちになっており、本学大学院も定員確保が難しい状況にあります。

大学院生の将来について考えると、きには、キャリアの多様化と社会貢献の重要性も見逃せません。本学大学院生は管理栄養士、理学療法士あるいは作業療法士という実務資格を有しており、修了後、それぞれの資格を活かして、高度な専門知識だけでなく、高いリーダーシップやコミュニケーション能力を身に付けることが求められます。

本学大学院の健康科学研究科では食物栄養学専攻では臨床栄養師

これからも、本学部は本学の建学の精神を基盤に社会の要請に応えながら、教育・研究の質を向上させ、社会に貢献する存在として成長し続けていくことを目指します。

の資格を取得することが出来ることになっており、リハビリテーション専攻ではリハビリテーション養成施設の教員資格を有さない学生に対して教員資格が取れるようにカリキュラムを組んでいます。社会人でも安心して2年間教育・研究が出来るような態勢を構築しております。さらに教育体制を整え、より高い教育・研究を進めて行く所存です。

大学院生の増加を図るためには、いくつかの手立てが考えられます。まず現状分析を行い、魅了ある大学院にするため教育・研究態勢の整備は勿論のこと、学生のニーズに応え、大学院修了のメリットを実感させることであると考えます。

本大学院は、より高いスキルと知識を有する管理栄養士や理学療法士および作業療法士を輩出することを目的として、次世代のリーダーや教育者、研究者を育成していく使命があります。教員や学生が共に学び、お互いが切磋琢磨して人間力を高めることで、社会に価値ある成果を生み出し、持続可能な未来への貢献が出来ると思えます。共に学び研究する志高い入学希望者を大いに期待しています。

食物栄養学部長就任のご挨拶

—すべての学生の成長と未来の夢の実現に向けて—



渡邊 啓一
WATANABE KEIICHI
食物栄養学部長

面の職に就いて活躍しています。自ら起業して活躍している方々もいます。これらの卒業生たちは私たちの誇りであり、多くの方々にはキャリア教育の一環として講演を行っていただいています。

この4月5日、コロナ禍後、久しぶりに新入学生、編入学生の方々と一緒に入学式を開催することができました。元気な笑顔の新入生の皆さんを迎え、大変嬉しく思うと共に、私も身が引き締まる思いがいたしました。これから新入生の皆さんには、本学の学生であることを誇りに思い、建学の精神「勇氣・親和・愛・知性」に学び、「勇氣」をもって人と違つてよいので自分らしい管理栄養士としての目標を立て、「親和」では、同級生や先輩・後輩、先生方や職員の方々とは話し合つてコミュニケーションをとりながら学生生活を送ってください。この関係は、皆さんの生涯の宝となるものと思います。「愛」では、保護者の方々や周りの人々に感謝の気持ちを持ち、そして「知性」では、しっかりと管理栄養士としての勉学に励んでいただきたいと思います。

令和6年4月より、食物栄養学部の学部長を拝命いたしました渡邊でございます。来年度、本学部に「食環境データサイエンス学科」の開設も予定されており、今年度は節目の一年となります。すべての学生の成長と未来の夢の実現に向けて、法人・教職員の皆様、学生の皆様、保護者様、卒業生の方々、そして連携協力して下さる地域社会の方々とは力を合わせて、誠心誠意努めてまいります。不行き届きの点多々あるかと思いますが、どうぞよろしくお願い申し上げます。

本学は、平成13年4月に建学の精神「勇氣・親和・愛・知性」を基に食を通して福祉を実現するという使命感を持った管理栄養士を養成するために開学しました。今年3月には第20期生を社会に送り出し、総勢2187名の卒業生を輩出しています。卒業生は病院、介護施設、保育園、保健所などで管理栄養士として、また小学校の栄養教諭、企業での食品管理・開発や企

冒頭に食環境データサイエンス

科新設について触れましたが、昨今の第4次産業革命と称される革新的デジタル社会の進展を背景に、様々な領域でビッグデータを収集・分析・解釈することで新たな価値を生み出すデータサイエンスの重要性が高まっています。さらに、「人生100年時代」と呼ばれる現代社会においては、単に長生きするだけでなく健康で充実した生活を送ることが求められています。このような背景のもと、食環境・健康分野においても、農業、食品製造、流通、健康管理といった各段階で蓄積されるデータをAI・データサイエンス技術を用いて分析し、科学的合理性に基づいて課題解決策を提案できるデータサイエンスティストが求められています。本学部では、食環境・健康分野の深い専門知識とAI・データサイエンスのスキルを合わせ持つグローバルな人材を育成するために、令和7年度に入学定員50名、収容定員200名からなる「食環境データサイエンス学科」を開設予定です。5月現在、文部科学省に認可申請中ですが、すでに、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構から本学新設に対して多額の補助金交付が内定されています。

本学は、本学の特徴は、本学の食環境と健康分野における教育研究実績を基に、日本を代表するDX推進企業である株式会社オプティム（菅谷俊二社長）および10社以上の地元企業と協力連携し、AI・データサイエ

スの基礎から社会実装までの能力を養う体系的な教育組織とプログラムを構築することにあります。これらの企業と産学連携協定を締結し、実習の受入のみならず、具体的な社会課題解決のための共同研究、基幹教員や非常勤講師派遣など、強固な連携体制を構築し、就職にも繋げていく予定です。本学科棟となる小倉北区キャンパス5号館（6階建て）では、アクティブラーニング型授業を実現するための最新の機器・備品等を備え、デジタルな講義や高速通信による遠隔講義にも対応しています。この学棟には、企業のサテライトオフィスや学生によるアルバイトを可能とする点も新しい教育形態として特筆すべきことです。本学は、これからの日本の大学教育をリードするベンチマーク的存在になるものと確信しております。

これまで、九州栄養福祉大学と東筑紫短期大学では、食物栄養、リハビリテーション、保育、そして介護の分野で、学部学科の枠を越えた学内連携による教育研究が行われ、地域社会を支える多数のスペシャリストを輩出してきました。本学は、人生のあらゆるステージにおいて人々が健康的な生活を送ることができる、これからの未来社会に求められるグローバルな人材を輩出するにふさわしい人的環境と言えます。新学棟におけるデータサイエンス教育が、全学の他学科と相乗効果を生んで、大学・短大のすべての学生の成長と未来の夢の実現に向けて貢献できることを願い、私の学部長就任のご挨拶といたします。

超高齢社会に対応できる実践力のある管理栄養士に



安倍 ちか
ABE CHIKA
食物栄養学科長

本学科では、本学の建学の精神である筑紫の心「勇氣・親和・愛・知性」の調和のとれた人間性を育むことを基盤とし、「食」を通して人々の健康を支え、生活の質（QOL）や生活・人生の快適さ（AOL）の向上を目指し、福祉に貢献できる管理栄養士の育成に努めております。管理栄養士は、食や栄養の面から健康の維持・増進と疾病の予防・治療等を推進する専門家として、病院・福祉施設・学校・行政・企業などに従事したり、スポーツ選手の栄養管理や食事管理を実施したりするなど非常に幅広いフィールドとニーズがあります。

現在、日本では65歳以上の人口が総人口の29.1%と過去最高となっており、増加する高齢人口の問題に対応することが喫緊の課題となつていきます。超高齢社会になった要因としては、少子化による若年人口の減少と「人生100年時代」といわれるほど平均寿命が延びていることが挙げられ、平均寿命と健康寿命との差をどう縮めていくのかが今後重要となつてまいります。具体的には、生活習慣病の予防や介護予防等により健康寿命の延伸を図り、人生100歳時代に備える必要があり、その大きな鍵となるのが「食と栄養」といえます。国からの「リハビリテーション・個別機能訓練、栄養、口腔の実施及び一体的取組について」では、リハビリテーション・個別機能訓練と栄養管理の連携した一体的なアプローチにより、リハビリの負荷や活動量に応じた必要なエネルギー量や栄養素の調整や筋力や持久力の向上、日常生活動作（ADL）の維持・改善のサポートなど自立支援や重度化予防の効果が繋がることが期待されています。本学では、リハビリ発祥地として歴史のあるリハビリテーション学部が南区キャンパスにあり、今後は、

さらには両学部の基本的教育目標の共通認識・共有化を図り、連携した教育に取り組みたいと考えています。さらに、本学は、地域に根差した大学として、北九州市や地元企業、高校等と連携した学生主体の社会貢献活動を活発に展開させています。このような取組や交流を通して筑紫の心が発揮され、互いの親睦を深めたり、コミュニケーション力を高めたりする貴重な体験の機会となつております。以上のことから、学内外の様々な活動を通して社会の変化やニーズを捉え、社会的課題に適切に対応できる実践力のある管理栄養士の育成に取り組んでまいります。

さらに両学部の基本的教育目標の共通認識・共有化を図り、連携した教育に取り組みたいと考えています。さらに、本学は、地域に根差した大学として、北九州市や地元企業、高校等と連携した学生主体の社会貢献活動を活発に展開させています。このような取組や交流を通して筑紫の心が発揮され、互いの親睦を深めたり、コミュニケーション力を高めたりする貴重な体験の機会となつております。以上のことから、学内外の様々な活動を通して社会の変化やニーズを捉え、社会的課題に適切に対応できる実践力のある管理栄養士の育成に取り組んでまいります。

第38回 管理栄養士国家試験

本学合格率

73.7%

70名合格/95名受験

全国合格率平均 49.3%

過去5年の平均合格率 88.6%

栄養教諭一種免許状取得

令和5年度卒 16名

北九州市表彰『未来をつくる若者功労賞』を受賞しました！



地域や企業と連携して、様々な取り組みを実施しています。北九州の響灘菜園では、毎年100トンのトマトが販売できず廃棄されてきました。そのトマトを北九州市の大学・企業と連携し、「トマトのおんがえしレー」のレシピを考案し、売り上げの一部を子ども食堂へ寄付するといったプロジェクトが、今年から新設された北九州市表彰『未来をつくる若者功労賞』を受賞することができました。本プロジェクトに参加した学生も「学生時代に、このような活動に取り組むことができてもうれいのです」と、テレビ局取材のインタビューでもしっかりと答えておりました。

また、今年度からは、食環境地域連携演習という科目がスタートして選択科目ですが40名近くの学生が受講し、食に関する地域課題の解決に積極的に取り組んでいます。

[Message] 卒業生の声



行政管理栄養士として

福岡県田川郡川崎町役場 勤務

福田 明音 さん

令和4年3月卒 ●佐賀県立鹿島高等学校出身

私は管理栄養士として川崎町役場に勤めています。主な業務内容は、保健指導や栄養講話、食事に関するイベントなどです。現在、川崎町の保健センターに勤務し、住民の方々に説明をしたり、食事に関するイベントで献立を立て、ボランティアの方たちとお弁当を作ったりと川崎町の皆さまのより良い健康のために仕事をしています。

業務の中で特に力を入れているのは保健指導です。健康診査の結果に基づき食事や生活習慣、運動についてお話します。1人1人生活習慣や行動変容レベルが異なるため、住民の方々とコミュニケーションをとりその人と一緒にできそうなことを考え、行動を変えることができるような保健指導を心がけています。住民の方々と接する中で、「話を聞くことができてよかった」「ちょっと頑張ってみるね」など感謝の言葉をいただいた時に、やりがいを感じます。

行政の管理栄養士は市町村で1人若しくは2人のことが多く、仕事をする中でわからないことやほかの管理栄養士の意見を聞きたい時は他の市町村に相談したりと協力しあって仕事をしています。

大学生活は大変なこともたくさんあると思いますが、大学で学んだことは仕事をする中でたくさん生かすことができます。大学で出会った友人との時間を大切に充実した学生生活を送ってください。

小学校栄養教諭として

小郡市立三国小学校 栄養教諭 勤務

園田 彩弥 さん

令和4年3月卒 ●鹿児島県樟南高等学校出身

幼い頃から食べるのが好きで食に関わる管理栄養士になりたいと思い、国家試験の合格率の高い九州栄養福祉大学に進学しました。

大学で印象に残っている授業は調理学実習です。週に1回、自分たちで1から作り、切り方や調理の仕方、味付け、盛り付け、料理の由来や背景などたくさんを学びました。その学びは今の献立作成や子どもたちへの指導につながっています。

現在は、小学校で栄養教諭として、献立作成や衛生管理などの給食管理と学級活動・教科等の授業やアレルギー対応などをはじめとする食に関する指導をおもに行っています。小学校には栄養教諭は1人しかいませんが、敷地内に給食室がある自校式給食なので、先生方や子どもたち、調理員さん、生産者さんなどたくさんの方々と関わりながら毎日の給食を提供しています。自分が考えた月の献立が給食として出ているときや子どもたちが笑顔で「今日の給食おいしかった!」と感想を教えてくれたときにとても大きなやりがいを感じます。

九州栄養福祉大学はクラス担任制なので、友達と目標に向かって一緒に頑張ったり、先生方に親身になってサポートしていただいたり、とても充実した大学生活を過ごすことができました。夢に向かって頑張るみなさんを応援してくれる大学です。



学 生 活 動 紹 介

～北九州市産業経済局との連携～ 「市場みらい塾料理教室」

地域の子どもたちに、スライドを使った食育の授業を行い、その後、一緒に調理活動を行う**市場みらい塾料理教室「地元野菜を使った料理教室」**を展開させています。(令和5年度は8月5・26日、9月9日の3回実施)

活動の目的

- ・食と健康についての講義や調理を通して子どもたちの食への興味関心を高める。
- ・身近な食材を使った調理実習をすることで、子どもたちの調理スキルの向上を図る。
- ・旬の食材や北九州市の地場産物等の良さについて理解を深めるとともに、北九州市の大切な食文化の継承を図る。

学生はこの食育事業に向け、事前に旬の食材や地場産物を活用した調理実習のレシピを考案したり、食育で活用する指導教材(プレゼン)を作成したりする過程で、これまでの大学での学習の成果(食の専門性)を発揮することができていました。

参加の子どもたちからは、「お姉さんたちと一緒に楽しかった!」「おうちでも作りたい!」などたくさんの感想をいただきました。

学生にとって大学での学び「栄養教育」を実践できるよい機会となり、子どもたちへの指導のスキルも高められる活動となっています。



この社会貢献活動は、**栄養教諭免許取得をめざしている学生が毎年取り組んでいます!**



＜地場産物や旬の食材を使った料理＞

とうもろこしご飯、夏野菜のキーマカレー、季節のサラダ(キャロットドレッシング)、フルーツ白玉

【農林水産Festival】

～北九州市委託事業「ジビエ推進事業」(猪肉を使ったレシピの開発)～

日時：令和5年11月25日(土) ※準備24日(金)

場所：北九州市立総合農事センター

内容：普及啓発活動 及び 試食提供・レシピの配布

農林水産Festivalのメインイベントとして、小野ゼミ・坂尻ゼミ・SDGsサークルの学生が、パワーポイントを使った猪肉についての説明や、猪肉を利用した商品開発の試食用メンチカツ・肉みそを各400食ずつ調理し提供するなどの活動を行いました。

この活動は北九州市の委託事業の取組みであり、大村先生、小野先生、坂尻先生の指導のもと、学生が9月頃より市の産業経済局と協力してレシピ開発などの準備を進めてきました。イベント当日はたくさんの市民の方が来場され、試食やレシピの配布も大好評で、レシピカードも作成し、来場者が自由に手に取れるよう準備しました。試食商品についてのアンケート回答も約200名からいただくことができ、この事業の総括までの活動をやり遂げました。参加した学生は、大変学ぶことが多い活動で、貴重な体験となりました。

また会場では同時に、今回参加したSDGsサークルが『廃棄食材を減らそう!自宅でも簡単にフードロス』というテーマで、冷凍保存した食品の利用方法や簡単フードロスメニューの紹介を行いました。

紹介メニュー：「炊飯器でカオマンガイ」
「余りがちな食材でマーメイドソテー」
「パン耳でグラタン」など



食物栄養学部

就職指導課長 松成 翔

本年度も多くの卒業生が就職という進路を勝ち取ることができました。例年同様に医療機関や福祉施設、委託給食事業者などを筆頭に、専門性を発揮できる業種が進路に選択されています。また、難関とされる公務員試験においても、専門職一般職双方で合格者を輩出することができました。これらの実績は、卒業生各自が学業と就職活動の両立に向けて懸命に取り組んだことに加えて、ゼミ担当やクラス担任の先生方と就職指導課との教職協働が機能した結果であると考えています。

本学の教職員は、学生一人ひとりと将来についての悩みや相談に真摯に向き合っています。また、就職指導課では多様化する学生からの要望に対応すべく、年間を通じてオリエンテーションやキャリアガイダンス、学内個別企業説明会など就職支援に係る様々なイベントの企画・運営に従事するほか、ICTを活用した情報発信の最適化にも取り組んでいます。併せて個別の学生相談にも柔軟に対応し、本人の希望や個性の把握にも努め、公平かつ有益な支援が提供できる体制を整えています。

本学の建学の精神、「筑紫の心」にある勇氣・親和・愛・知性を涵養する人格教育を経験した卒業生諸君が、変化の激しい時代の中でも課せられた職責と誠実に向き合い、そして専門性を活かし地域社会に必要とされる人材となってくれることを願っています。

食物栄養学科

公務員 鹿児島県職員（栄養士）、直方市職員（管理栄養士）、下関市職員（豊田中央病院 管理栄養士）、八王子市職員（管理栄養士）、中種子町職員（管理栄養士）、名護市職員（管理栄養士）、福岡市職員（学校事務）

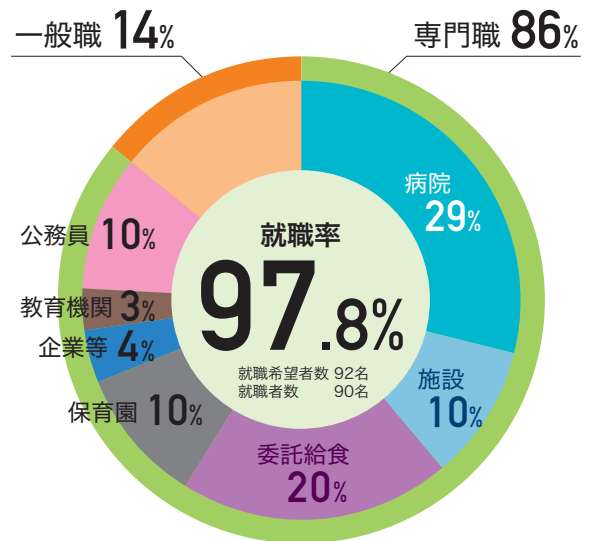
専門職 (学) 東筑紫学園 九州栄養福祉大学、(医) 真鶴会 小倉第一病院、(医) 共和会 小倉リハビリテーション病院、(医) ひがしだクリニック、(医) 慈恵会 沼本町病院、(医) 森都病院、(医) 恵愛会 福岡病院、(医) くろきひろクリニック、(医) 敬仁会 八代敬仁病院、(社医) 北九州病院、(社医) 製鉄記念八幡病院、(社医) 池友会 福岡和白病院、(社医) 原土井病院、(社医) 池友会 新行橋病院、(社医) 雪の聖母会 聖マリア病院、(社医) 弘恵会 ヨコクラ病院、(公財) 健和会、(医) なかお歯科 北九州セントラル歯科、(医) 坂本クリニック耳鼻咽喉科、(医) 慈恵会 介護老人保健施設 わかくさ、(医社) 桜会 介護老人保健施設 さくら苑、(社福) 松美会 特別養護老人ホーム アイユウの苑、(社福) 福祉松快園、(社福) 宏志会 きらく荘、(社福) 正勇会 特別養護老人ホーム ソレイユ北小倉、(社福) 同朋会 ケアハウス同朋、(社福) 大和会 特別養護老人ホーム 和光園、(社福) 覚応会 第二光和保育園、(社福) 菊陽会 第一保育所、(社福) 仁愛会 (仁愛保育園・仁愛乳児保育園)、(社福) 八代ひかり福祉会 八代ひかり保育園、(社福) 夢工房 幼保連携型認定こども園 美ら夢、(株) シエナ 志免さくらこども園、(株) モード・プランニングジャパン 雲母保育園、(株) リハピス 企業主導型保育園 みらこ保育園、ライクキッズ株式会社 にじいろ保育園、日清医療食品株式会社 福岡支店、日清医療食品株式会社 中国支店、コンパスグループ・ジャパン株式会社、エムサービス株式会社、(株) グリーンハウス、(株) ふじフードサービス、(株) ドラッグストアモリ、(株) ハート・ビート メディケア福岡西

一般職 小倉ゆめ歯科おとな歯科こども歯科、(株) アインホールディングス、(株) オネスト、(株) 三協デリカ、(株) 西鉄ストア、(株) はま寿司、(株) ミスターマックス・ホールディングス、(株) ものばんく、(株) ロビア、THE OUTLETS KITAKYUSHU (イオンモール株式会社)、キューサイ株式会社、TOLAH 株式会社、EVAND 株式会社

進学 (学) 日本女子大学大学院 家政学研究科(食物・栄養学専攻)

*略称表記について

(学) = 学校法人、(医) = 医療法人、(社医) = 社会医療法人、(社福) = 社会福祉法人、(公財) = 公益財団法人、(一社) = 一般社団法人、(株) = 株式会社



【令和6年3月卒業生実績】

支援スケジュール(食物栄養学部)

4月	●就職オリエンテーション/3年(SPI・GET検査) /3・4年(就職支援内容・スタッフの紹介、就職活動の進め方、自己分析方法・履歴書の作成について等)
5月	●就職対策特別講座/2・3・4年(外部講師などによる筆記・SPI(適性検査)・面接の対策講座) ●マナー講座/4年(外部講師による特別講座)
7月	●マナー講座/3年(外部講師による特別講座)
10月	●公務員試験対策講座/3年、10月頃～翌年3月(外部講師による公務員受験指導の対策講座)※例: オンデマンド方式とライブ方式のハイブリッド型
1月	●就職ガイダンス/3年(就職活動を終えた4年生から就職活動のスケジュールや対策方法、在学生に向けたアドバイス・メッセージなど)

こども教育とリハ学部



高橋 精一郎

TAKAHASHI SEIICHIRO

小倉南区キャンパス 学長補佐

本学に「こども教育学部・こども教育学科」の新設と食物栄養学部「食環境データサイエンス学科」が増設され、2025年4月開講に向けて準備が進められている。今までは「食とリハ」で食物栄養学部・食物栄養学科と関係を築いてきたが、今後は新学部・新学科との連携も必要である。

こども教育学部ではリハ学部と連携を組めるのは主に「特別支援学校教諭」課程と考えている。文部科学省は、①特別支援学校を「視覚障害」「聴覚障害」「知的障害」「肢体不自由」「病弱・身体虚弱」の5障害に分け、学内に幼稚部・小学部・中学部・高等部を設置している②特別支援学級は小・中学校に設置され、「弱視」「難聴」

「知的障害」「肢体不自由」「身体虚弱」「言語障害」「自閉症・情緒障害」の7障害のクラスに分けられている。児童生徒数では、直近10年（平成24年と令和4年）を比較すると、義務教育段階の全児童生徒数が約1割減少した（1,040万人↓952万人）一方で、特別支援教育を受ける児童生徒数はほぼ2倍に増加している（30.2万人↑59.9万人）。特別支援教育を受ける児童生徒数の割合が10年で2.9%から6.3%に増えたことになる。

特別支援学校の児童生徒数は1.2倍（6.6万人↑8.2万人）であるが、特別支援学級では2.1倍（16.4万人↑35.3万人）で、小・中学校での障害児対応が増加している。加えて、大部分の授業を在籍する通常の学級で受けながら、一部の時間で障害に応じた特別な指導を受ける「通級」の児童生徒数は2.3倍（7.2万人↑16.5万人）（平成24年と令和2年の比較）と、年々増加を続けている。

特別支援教育を必要とする障害児

は、障害程度が比較的重く、専門性の高い教育を必要とする特別支援学校の児よりも、基本的に小・中学校の学習指導要領に沿って教育を進める対象となる特別支援学級の児の増加が著しい。小学校では児童数が減少し、特別支援学校・学級の児童数は増加する現状が確認できる。

令和4年度の特別支援学校の児童生徒数は、「知的障害」13.8万人、「肢体不自由」3.1万人、「病弱・身体虚弱」1.9万人、「聴覚障害」0.8万人、「視覚障害」0.5万人となっており、「知的障害」の児童生徒が増加傾向を示し、他は横ばいである。

特別支援学級のクラス別在籍者数では、「自閉症・情緒障害」18.3万人、「知的障害」16.6万人、「肢体不自由」と「病弱・身体虚弱」がそれぞれ0.4万人で、発達障害とされる「自閉症・情緒障害」と「知的障害」の2クラスの児童生徒の増加がみられている。

通級では令和1年から2年の1年間で3万人以上の増加がみられ、なかでも「注意欠陥多動性障害」「学習障害」「自閉症」等の発達障害を有する児童生徒の増加が著明である。

特別支援学校教諭は障害を有する児童生徒を対象とすることから、知的障害児や肢体不自由児、病弱・身

体虚弱児への運動・動作支援方法などの知識が必要である。

小学校教諭についても特別支援学級の担当が可能なので、肢体不自由児への支援は多くないもののゼロとはいえない。また、通級では運動障害児は少ないものの学習障害児への対応が求められる。種々の障害への理解や児への支援に関する知識の修得は不可欠である。

リハ学部では小児分野の教育として前述の障害に対応できるカリキュラムを構築している。特に作業療法士国家試験では特別支援教育に関する出題もみられ、特別支援学校で勤務する作業療法士も少数ながら存在している現状から、リハ学部と障害児教育との関係は強い。

本学はこども教育学部とリハビリテーション学部を併せ持つ稀有な存在になる。義務教育では身体障害、発達障害、学習障害など、障害を有した児童生徒を受け入れるため、「教育とリハ」の連携が必要だと思っている。

【引用資料】

1) 文部科学省 初等中等教育局 特別支援教育課「特別支援教育の充実について」
p3-17, 2023年

<https://www.mhlw.go.jp/content/001076370.pdf> (2024.4.15参照)

充実した大学生活を送りながら、立派なセラピストになるための10か条



石橋 敏郎
ISHIBASHI TOSHIRO

リハビリテーション学部長

足立山の麓にある小倉南区キャンパスでは、今年度、理学療法学科70名、作業療法学科31名、合計101名の新生を迎えました。少子高齢社会の中で専門医療職である理学療法士と作業療法士という国家資格の取得を目指すという高い志をもって、九州栄養福祉大学リハビリテーション学部に入學してくれた新生を心から歓迎します。

毎年、新入生にできるだけ円滑に大学生活を始めようために、入學する前に「入學前セミナー」を実施しております。その中で、「充実した大学生活を送りながら、立派なセラピストになるための10か条」として、以下の内容を入學前の心構えとして伝え

ております。(1)初心を忘れない、(2)自律する、(3)人の為に勉強する、(4)短所は改善し、長所を伸ばす、(5)多くの人と触れ合う機会を増やす、(6)よく学びよく遊ぶ、(7)行事に積極的に参加する、(8)できるだけ活字に触れる、(9)他者から認められる存在となる、(10)外見よりも中身を磨くという内容です。この10か条は、私自身の理学療法士としての臨床経験と教員生活の中で学生教育を行ってきた中で、実感してきた理想的な学生の姿になります。

新入生がこの10か条を実践することが容易でないことは百も承知で、その上で少しでも実現してほしいという願いを込めて伝えています。将来、立派なセラピストになって、人の役に立つ医療人になるために、まずは「自分磨き」が必要です。障害のある方や悩みを抱えた人々を勇気づける人になるためには、まずは自分自身が他者を受け入れて支えるために必要な

度量と器の大きさを備えておかなければなりません。4年間の大学生活で、好きなことや楽しいことだけをやったり、不甲斐ない自分から逃げていては決して人の役に立つ人間にはならないし、自分自身と真剣に向き合わないと自己改革はできません。私自身が初めて臨床実習に臨み、担当させて頂いた対象者と向き合ったときに、その人の為に自分は何ができるかを真剣に悩んだ日々を思い出します。その苦しい日々を振り返るときに、自分の人生の中でどれだけ自分自身に投資してきたかを問われた気がしました。つまり、本当の意味で人の役に立つためには、自分のことをまず大事にして、自分のこと以上に他人のことを考えるようになることが理想です。

楽しいキャンパスライフを送るために「大いに遊び、大いに学んでください」とよく学生に言います。大学時代には自由な時間がたくさんありますので、好きなことを好きなだけやってほしいと心から思っています。アルバイトやサークル活動、ボランティアなどに積極的に参加する中で、色々な人と交流して、他者を思いやる優しさや、程よい距離間の保ち方などを身につけてほしいと思います。でも、好きなことをやった分、医療系の大学に進学したという自覚をもって勉強も忘れずにしてほしいです。その際は、遊びと勉強のけじめをはっきりつけて、勉強には集中して取り組んでほしいですし、勉強は自分のためにやることはもちろんのこと、将来自分が担当する対象者の為にやってみてください。中途半端にやっていると、いざというときに役に立ちませんし、試験の時だけ一夜漬けした内容も役に立ちません。スポーツは地道な基本練習が重要ですし、家を建てる時には土台作りがまず必要のように、立派な医療人になるために、その第一歩となる解剖学や生理学に真剣に取り組みましょう。自分のペースで良いので、まずはコツコツと取り組み、勉強方法に悩んだ時には先輩や担任の先生などに相談しつつ、地道に努力していきましょう。いつか必ずやってよかったと心から思える日がやってくるのを夢見て、今は目の前の課題に取り組みましましょう。

『卒業生(参上)研修会』について



廣 滋 恵 一
HIROSHIGE KEIICHI
理学療法学科長

2024年3月、理学療法学科10期生が卒業した。延べ800名ほどが九栄大卒の理学療法士として活躍している。その卒業生が無料で自由に参加できる研修会がある。卒業生有志が企画運営している『卒業生の卒業生による卒業生のための研修会』略称『卒業生(参上)研修会』である。多様性をかけた『九栄Diversity』とこうキャッチフレーズをかかげ、毎年9月にさまざまなテーマの講演や研究・症例発表会が開催され、今年で8回目を数える。コロナ禍はWeb開催で、関東など遠方に就職した卒業生とも再会できた。私は名ばかりの研修会長であるが、卒業生の相談窓口として毎年の企画会議から参加できるのが楽しみとなっている。第10回の節目には記念イベント

の開催や過去の研修会ポスターとプログラム集をまとめ、歩みを振り返ることなどが計画されている。

2023年度は、労働福祉事業団九州リハビリテーション大学校2期生の大塚三郎教授が客員教授になられ、その記念講演「理学療法士としての経験から学んだこと、そして伝えておきたいこと」が開催された。また、同大学校1期生の橋元隆教授(現日本リハビリテーション発祥地記念館、九州リハビリテーション大学校記念館館長)と、同3期生の高橋精一郎教授(現学長補佐)の特別討論会「2040年に理学療法士はどうあつてほしいか?」において、理学療法の草創期から現在に至るまでの歴史に加え、医療・介護・福祉への影響が予測される2040年問題に向けた激励とアドバイスが卒業生に送られた。

有志の熱意でスタートしたこの研修会は、まさに『筑紫の心』に学んだ卒業生ならではのと言える。しかし、研修会の運営メンバーは、1期生から10期生までと年齢差が広がり、ライフイ

ベントの違いなどから主体性に世代間ギャップが生じている。組織体制の見直しや役割分担などの再考時期を迎えている。また、運営費用も現在のボランティア精神だけでは持続可能性が危ぶまれる。作業療法学科や食物栄養学部卒業生との連携の可能性、九州栄養福祉大学同窓会に支援を求めることはできないかなどを模索している状況である。本稿が何かのきっかけになれば幸いである。

第59回 理学療法士国家試験

本学合格率

97.6%

81名合格/83名受験
全国合格率平均 89.3%

- ・園芸療法士取得 令和5年度卒 11名
- ・パラスポーツ指導員(初級) 令和5年度卒 50名

理学療法(Physical Therapy:PT)とは

理学療法(Physical Therapy:PT)とは、交通事故やスポーツ障害、生活習慣病や高齢化、小児疾患など身体が不自由になった方々に対し、心身の両面から機能回復・維持をはかる医療です。身体機能・心理面・リスクなど、個々の状態を科学的にとらえ、適切な治療方法や目的を設定することで治療を進めます。人の動きやその機能を医学的に分析・考察し、運動を治療や練習の手段として活用する高度な医療技術のひとつです。

国家試験合格は大きな目標の通過点

理学療法士として働くためには国家資格の取得が不可欠です。本学科では国家試験合格はもとより、高度な知識技能と科学者としての目を持った専門家として障害に苦しみ方々を支えられる人材育成を大きな目標としています。

その意味で理学療法士は、生涯が勉強の連続。まずは、「人間の体の神秘を楽しく学ぼう!」これは本学理学療法学科の合言葉です。

本物が本物の場所で本物を育てるためのカリキュラム

実際のカリキュラムでは、入学直後の早朝から臨床経験を多く積めるように配慮しています。また、学外から各分野のスペシャリストを講師として招き、医療全般の実務に関わる内容が講義されます。

「本物が本物を育てる」教育環境・リハビリ発祥の地で、医療人としての自覚を促すカリキュラムが展開されます。また、社会人としての基本的マナーなど、医療人としての基本的な教育も、教室の内外を問わず実践します。人間性豊かな専門家を育てることこそ、本学科の大きな目標です。

[Message] 卒業生の声



患者様の生きがいのために

医療法人相生会 福岡みらい病院 勤務

春田 太志 さん

令和4年3月卒 ●福岡県立小倉西高校出身

当院では、急性期や回復期、緩和ケア、地域包括ケアなど多岐に渡ってリハビリテーションを提供しています。私は現在、回復期リハビリテーション病棟に配属されています。脳卒中や骨折などにより様々な問題を抱えている患者様に寄り添いながら、在宅復帰を目指していく過程で困難に直面することもあります。その過程に理学療法士として携われることにやりがいを感じています。

その中でも私は、患者様が在宅復帰するだけでなく、趣味や仕事などの生きがいを再獲得できるよう心掛けています。理学療法を提供するなかで、患者様やご家族の希望は様々です。退院後に、患者様が安全に暮らせるよう支援していくことはもちろん大切ですが、患者様やご家族の希望に応えるためにも、患者様の生きがいを尊重していくことが最も大切だと考えています。

私は大学生活で、先生方や友人とともにコロナ禍での臨床実習や国家試験などを乗り越えました。大学生活で苦しいこともあると思いますが、仲間たちと支え合いながら乗り越えていくことが大切です。皆さんがかけがえのない仲間と巡り合い、充実した大学生活を送ることが出来るよう心より願っています。

人との繋がり

国東市民病院 勤務

安部 辰彦 さん

令和4年3月卒 ●大分県立国東高等学校出身

私が勤める国東市民病院は大分県の大分空港付近にあり、一般急性期病棟、地域包括ケア病棟、回復期リハビリテーション病棟、訪問リハビリテーションなど様々な役割を担う地域の中核病院となっています。

私は1年目から回復期リハビリテーション病棟配属となり、主に運動器疾患や脳血管疾患の患者様を対象に理学療法を行っています。身体機能や生活背景を考慮し1人1人にあった退院支援を行うことに難しさを感じています。

私はこの3年間で患者様の訴え等を傾聴することの重要性を学びました。突然の受傷や術後により患者様はそれぞれの不安を抱えています。その不安を傾聴し、ニーズに沿ったリハビリを行うことに加えて、そのリハビリ内容を説明し、理解してもらうことで不安が軽減し、信頼関係を築くことができると考えます。今は、患者様からの感謝の言葉にやりがいと責任を感じながら、日々業務に励んでいます。

私の大学生活では新型コロナウイルスの影響により、様々な制限を受けました。コロナ禍を家族や友人、先生方と乗り越え、人と人との繋がりの大切さを実感しました。現在は徐々に制限も緩和され、大学のInstagramで皆さんの活動を楽しみながら見守っています。皆さんも視野を広く持ち、人との繋がりを大切にしながら大学生活を楽しんでください。応援しています。



実践力の育成



四元 孝道
TAKAMICHI YOTSUMOTO
作業療法学科長

作業療法学科ではこの春に27名の卒業生が新たな一歩を踏み出すことになりましたが、第59回作業療法士国家試験では2名が不合格となり、非常に残念な結果となりました。それでも、全国の合格率を上回る高い合格率を維持し、さらに全卒業生が就職できているという事実は、本学科の教員だけでなく、リハビリテーション学部全体が4年生を就職や国家試験に向けて支援している結果だと考えます。また、4月には作業療法学科14期生として31名の新入生を迎えることができました。40名の定員に対して100%の充足とは言えませんが、他校の作業療法学科が減少傾向にある中、前年よりも少しづつ増

加している状況です。施設や病院からの作業療法士求人は依然として高い人気がありますが、高校生における作業療法士の認知度は変わらず低い印象があります。そのため、歴史と伝統のある本学が、作業療法士の養成校をリードし、先導していく所存です。

近年の医療では、多職種が連携して対象者の目標に向かって取り組むチームアプローチが一般的です。このためには、他の職種を理解し尊重した上でコミュニケーションをとることが欠かせません。この姿勢や能力は、座学だけでは身に付けられず、学内での実践経験が必要で、これらは人間力を形成するものと考えられます。本学では、歴史と伝統を基に「勇気・親和・愛・知性」という建学の精神を学内の行事やカリキュラムを通して人間力として培うことができるため、地域の医療社会においてリーダーシップを発揮できる人材を育成することが可能となっています。

新入生・在学生においては、これからの作業療法を牽引するだけでなく、地域社会と対象者を幸せへと導く作業療法士になるために、4年間を通じて学生生活を何事にも真摯に一生懸命取り組んで人間力を培ってください。そして、喜びも悲しみもたくさん経験し、成長してください。

第59回 作業療法士国家試験

本学合格率

92.6%

25名合格/27名受験
全国合格率平均 84.4%

- ・園芸療法士取得 令和5年度卒 12名
- ・パラスポーツ指導員(初級) 令和5年度卒 19名

作業療法(Occupational Therapy:OT)とは

作業療法(Occupational Therapy:OT)とは、身体または精神に障害を持つ、またはその惧れがある方々に対し、諸機能の回復、維持および開発に繋がる作業活動を治療手段とした医療技術です。十分な医療管理のもと、資格を持った作業療法士が評価と治療計画をもとに行います。また、住環境や家族の指導、自助具開発、就労支援なども作業療法士の仕事です。

コミュニケーションの力を培う

効果的な治療を実現するためには、障害に苦しむ方ももちろん、ほかのスタッフたちとのコミュニケーションが重要です。本科のカリキュラムではゼミナール形式のグループワークをふんだんに取り入れることで、専門知識を深めるとともにコミュニケーション能力を身につける機会を設けています。個性を認め大切にするのがリハビリテーションの基本です。相手の意見を聞き、自分の意見を伝える力を培います。

真の医療人を目指す道は平坦ではない

入学早期から実習を通して医療の現場にふれるほか、各界の講師を招き、幅広い内容の授業を行うなど、医療人としての確かな知識、技能、自覚を持つための授業を幅広く展開しています。教室は、生涯を通じて優れた医療人であるための基礎を徹底的に身につける場です。本学を卒業すれば、みなさんは学生ではなく一人の医療人。私たち教員にとっても同じ医療に携わる仲間になります。そんな想いで指導しますから、中途半端は決して許されません。医療人として真に優れた作業療法士を目指してください。

[Message] 卒業生の声

患者さんからの言葉をやりがいに

地方独立行政法人 北九州市立病院機構 北九州市立医療センター 勤務

松崎 準平 さん

令和3年3月卒 ●福岡県立小倉東高等学校出身

私は、九州栄養福祉大学を卒業して、現在は北九州市立医療センターで働いています。ここでは、多くの診療科があり急性期から緩和医療までの患者さんに介入しており、私自身も最近になって、癌の患者さんのリハビリを担当しています。手術が終わってすぐからの介入になるため様々なリスク管理があるので、勉強をして経験を積んでも術後初回介入は緊張します。勉強会に参加したり、経験豊富な先輩方に多くの事を教えていただき臨床に望み、失敗することも多々ありますが、患者さんの笑顔や「ありがとう」が聞けた時にこの仕事のやりがいをとても感じます。

在学中は、試験や実習など苦しいことは沢山あり、仲間達と切磋琢磨し一緒に乗り越えた4年間はかけがえない宝物です。しかし、バイトや遊びなど、この4年間でしか出来ない楽しいことは沢山あります。4年間という長いようで短い学生時代での出会いや経験は、他職種との連携や患者さんとのコミュニケーションの話題など今の仕事にもいかされていると思います。

仲間や先生方との一つ一つの出来事を大切にしながら勉強に遊びに全力で励んでください。



Field

作業療法の活躍の場をご紹介します



九州栄養福祉大学
 作業療法学科 教授
 南区キャンパス教務部長

佐野 幹 剛

住み慣れた地域で作業療法を…

保健所などでは地域で生活している乳幼児を対象に健康診査を実施しています。その場で運動発達など、気になる課題があれば、後日個別相談を受けることができます。私は、作業療法士として長年、発達期に課題を抱えた子どもに対する発達支援とその保護者のカウンセリングを行なっています。このような地域作業療法は、医療施設での作業療法と異なり、主に診断のない子どもが対象です。ご家族にとって、子どもの発達に関わる課題は、些細なことであっても深刻な問題です。作業療法士は、保護者に対して育児上の困り事に傾聴し、子どもの発達状況を正確に評価・検査しながら、課題解決に向けたプログラムを立案し実践します。特に大切なことは、保護者が理解して家庭で実施できることです。作業療法士は、保護者が見通しを持って安心して育児に取り組めるようホームプログラムを説明します。相談後は、定期的にチェックしながら、必要な

指導や説明を行なっていきます。複数の課題を抱えている子どもでは、医師や臨床心理士、言語聴覚士などにおつなぎして詳細をチェックしていただきます。また、通園している保育所・幼稚園の先生にもお話をお聞きして、子どもの日常をより具体的に確認することも必要です。このような多職種と連携しながら作業療法を実践することで、質の高い発達支援ができると思います。子どもたちが順調に発達・成長していくと、保護者の皆さんの安心した表情が増えていきます。親子の素敵笑顔は、作業療法士を続けていく大きなパワーになります。

作業療法士が活躍しているフィールドは、医療モデルだけではなく、地域作業療法のように社会モデルにも広がっています。皆さんの「やりたい」フィールドを作業療法で見つけて下さい。

多職種が連携した地域の支援体制



2022年度－2023年度メディカルフェスタを開催して

2023年10月22日(日)天候にも恵まれて第2回目となる『メディカルフェスタ』が九州栄養福祉大学小倉南区キャンパス、日本リハビリテーション発祥地記念館・九州リハビリテーション大学校記念館で開催された。昨年(2022年10月15日)に続き2年目の開催である。本事業は、北九州市と市内の企業(医療機関)、本学、そして地域が連携した一種の産学官民連携モデルとも捉えることができる。

北九州市より「北九州市多様な進路選択支援プログラム実施補助金」の案内をいただき、当時学生部長だった故 淵雅子先生に相談した際に、瞬間的に「やるう!」という方向性になったことを記憶している。その背景として、少子化の影響も受け学生募集に苦労している状況で、特に職業の認知をいかにして高めるか、高校生になってからではなく、もっと早い段階、小学生や中学生の頃から魅力ある「作業療法士」や「理学療法士」の職業を知って選択肢にってもらふ、という補助金の趣旨と同じ構想を作業療法学科長として検討していた時期でもあったのである。初年度は申請までの期間が非常にタイトで連携企業の調整から企画の検討まで慌ただしい日々であったが、淵先生のリーダーシップをはじめ学内教職員の協力、そして何より、初年度に連携先として快く引き受けてくださった医療法人共和会(小倉リハビリテーション病院)様のおかげで無事に期間内に申請し交付決定をとりつけた。まだまだ、新型コロナウイルスの対応で気の抜けない状況である中、常に前向きな提案と協力体制を築いてくださった浜村明徳先生(医療法人共和会 会長)と矢野浩二先生(小倉リハビリテーション病院リハビリテーション部副部長)には感謝の念に堪えません。

本事業準備にあたり、企画段階から学生スタッフを募集し、学生スタッフと共にゼロから事業を創り上げていくという貴重な経験を得ることができた。第2回目には協力団体を5団体まで増やすことができた(医療法人共和会様、神崎工務店様、トヨタ自動車様、ムイック様、北九州モルモッツ(モルックチーム)様)。協力の輪が広がることで、各団体のSNS発信やメディア記事掲載(北九州ノコト10月17日配信)、北九州市政だより掲載(10月15日1,444号)にもつながり、本事業や本学への一定の広告効果があった。

2回の開催を終えて来場者数に課題はあるものの、産学官民連携事業としてのやりがいを非常に感じているとともに、参加の学生スタッフをはじめ連携先企業(団体)の皆さまからも大変ポジティブなコメントを頂戴した。浜村会長には当日もご来場いただき、終了後には先生のご経験をもとに「新奇への周囲の反応」と「継続することの大切さ」について言葉をかけていただき大変心強く感じた。

本事業は市の補助金を受けており、この補助金が次年度以降も継続されるかわからないが、ここまで2回で蓄積してきた「知」の継承や、事業を通じた学生の成長はまさに本学の建学の精神に基づいた行事教育の一環であり、補助金の有無に関わらず連携事業の一つとして継続していきたい。

最後になりますが、改めて本事業開催にあたりご協力いただいたすべての皆さまに感謝申し上げます。

南区キャンパス学生部



リハビリテーション学部

小倉南区キャンパス学生部長

石橋 敏郎

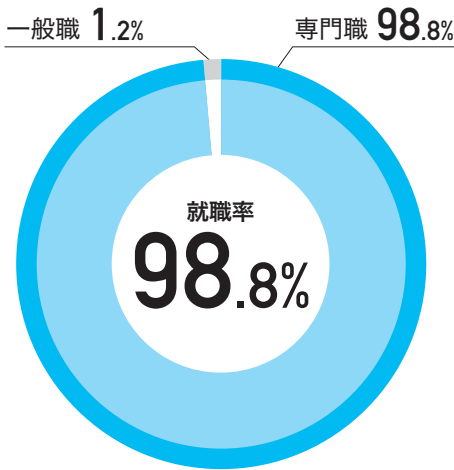
令和5年度の就職状況は、理学療法学科98.8%（卒業生83名中82名）、作業療法学科100%（卒業生27名中27名）でした。例年、全国各地より多数の求人をお願いしておりますが、多くの採用ニーズに十分こたえられていないのも現状です。令和5年度の特徴は、関東・関西方面を含む県外への就職者が増加したことがあります。新型コロナウイルスが5類となり、学生の就職活動への制約が緩和され、活動エリアが拡大したことが影響しているのではないかと推測できます。一方で、県内就職の割合も安定しており、両学科あわせると67.5%（3人に1人は北九州市内就職あり、地元の地域医療を下支えする地域密着型の大学として一定の貢献ができています）。

学内の就職支援は、例年10回〜11回の対策講座を開催しており、学内就職説明会では対面とオンライン2日間で過去最大の114施設の参加がありました。回を重ねるごとに参加施設数が増加しており、本学学生への求人希望の高さを実感しています。

卒業生の就職活動の状況を卒業生アンケート結果（2024年3月卒業生）からみると、第1希望先への内定が88%以上（作業療法学科は100%）や、受験1社目内定率82.3%（平均受験社（病院・施設）数1.2社）等、円滑な就職活動が実施できていることがわかります。

養成校として最も長い歴史を持つ本学ならではの就職ネットワークや、これまで築いてきた地域や病院・施設への信頼をより強め、学生の進路実現に向けた就職支援に教職員一丸で取り組んで参ります。

理学療法学科



【令和6年3月卒業生実績】

就職活動状況(2024年3月卒業生アンケートより)

- *第1希望内定率
理学療法学科：88.9% 作業療法学科：100%
- *受験1社目内定率
両学科共通：82.3%（平均受験社（病院・施設）数：1.2社）
- *福岡県内就職率
理学療法学科：67.5% 作業療法学科：77.8%
- *北九州市内就職率
理学療法学科：33.7% 作業療法学科：40.7%

専門職

【関東エリア】IMSグループ（イムス横浜東戸塚総合リハビリテーション病院、イムス横浜旭リハビリテーション病院、行徳総合病院）、西八王子病院、陽和病院、医療法人白金会 リハビリテーション病院さらしな、慶友整形外科病院

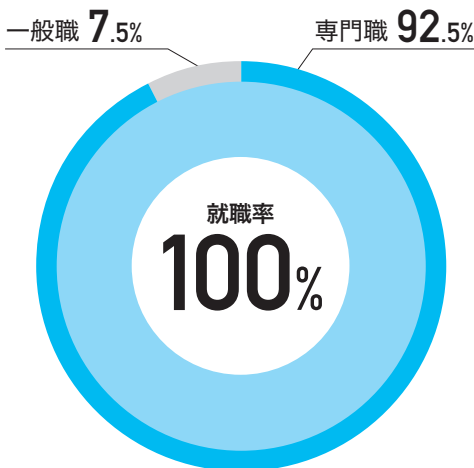
【関西エリア】青山メディカルグループ、馬場記念病院、京都大原記念病院

【中国・四国エリア】国立病院機構中国四国（福山医療センター）、光風園病院、下関市民病院、脳神経筋センターよしみず病院、徳山中央病院、土谷総合病院、呉中通病院、マッターホルン病院

【福岡県内】北九州病院グループ（北九州総合病院、北九州中央病院、北九州湯川病院、北九州八幡東病院）、小倉リハビリテーション病院、社会医療法人共愛会（戸畑リハビリテーション病院、あやめの里）、宗像水光会総合病院、青山整形外科医院、秋山クリニック、甘木病院、社会保険船築病院、大原病院、大牟田天領病院、おかがき病院、おかだ整形外科スポーツ・リハビリクリニック、小波瀬病院、川崎病院、北九州市立病院機構（北九州市立医療センター、北九州市立八幡病院）、北九州市立門司病院、九州鉄道記念病院、九州労災病院、霧ヶ丘つた病院、芳野病院、くらて病院、クリエイティブハウス創造館、久留米リハビリテーション病院、ざいつ整形外科、産業医科大学病院、しょうわ会、新小倉病院、新生会病院、新水巻病院、STAND UP!、聖マリア病院、田川病院、田中整形外科、東筑病院、東和病院、長尾病院、白十字会、久山療育園、福岡整形外科、福岡みらい病院、福岡リハビリテーションクリニック、福岡病院、前川整形外科医院、溝口整形外科、南川整形外科病院、三萩野病院、夫婦石病院、行橋記念病院、こばんはうすさくら

【九州エリア】村上記念病院、佐藤第一病院、天草中央総合病院、熊本詫麻台病院、ひらまつ病院、平田東九州病院

作業療法学科



【令和6年3月卒業生実績】

保育の質の向上にむけて



寺本 普見子
TERAMOTO FUMIKO
保育学科長

本学保育学科は、今年度八十三名の新生を迎えました。これから短大生活を迎える学生は高校時代と全く異なる環境の下で勉学に励むこととなります。私は本学を卒業し幼稚園に勤めて数十年その後、本学に赴任して十数年。幼稚園勤務中に受けていた園児が本学の保育科に入学した学生が数人います。幼稚園の卒園式に「大きくなら幼稚園の先生になりたい」と言っていた園児が初心貫徹して、入学式で出会いました。出会った時の感動は言葉で言い表せません。素晴らしいことです。その学生たちが卒業し、社会に必要とされる保育者として頑張っている。その保育者を養成しているのが本学です。「幼児期の教育は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要なもの」。幼児期の特性を踏まえ、環境を通して行うものであることを基本とする。」と学校教育法に記載されています。

第一の特徴は、建学の精神である「筑紫の心」です。「勇気・親和・愛・知性」を基本とした人格教育です。第二の特徴は、幼稚園教諭二種免許、保育士資格、認定ベビーシッター、レクリエーション・インストラクター、子ども音楽療育士などの多くの資格取得です。今まで地域から信頼され、築き上げてきた本学科の先輩方の歴史と伝統を受け継ぎ、保育の基礎・基本を学んだ昨年度の卒業生は幼稚園、保育所、児童養護施設等の仕事に全員就職できました。これからも社会に貢献できる保育者を多く養成したいと教職員一同願っております。そのために全力でサポートしていきます。

第三の特徴は、学園キャンパス内に、認定こども園東筑紫短期大学附属幼稚園が隣接しています。子どもといつでも関われます。教科によっては附属幼稚園の講義室で授業を受け、園庭で遊んでいる子どもと触れ合い、大学だけでは学ぶことのできない保育実践を行っています。

少子化と、保育者不足である昨今、令和の時代を担う子どもへの教育に携わる保育者の役割は大きいのです。多くの課題がある保育の道ですが、全教職員と、その課題に向かい合い保育の質の向上へ、意欲をもつて共に努力していきましょう。

夢は社会に必要とされる専門性豊かな保育者 憧れの「幼稚園教諭」や「保育士」に…

本学科はこれからのニーズに合った社会に必要とされる保育者を養成する学科です。その夢を叶えるために、建学の精神「筑紫の心」を基本にしながら、いくつかの特色を構築しています。その一つとして、キャンパス内にある附属幼稚園との連携を深めて、1年次から観察実習や附属幼稚園での「環境」等の授業を実施しています。また、保育者としての学生の資質向上や専門性を深めるために、学生が自主的に地域の保育現場に出かける取り組みを行っています。さらに、実習前の学生の不安を少しでも解消するために、教材研究や指導案の作成など、一人ひとりに寄り添ったきめ細やかな指導を行っています。

幼稚園や保育所(園)、施設での実習を体験した学生は、「無邪気な笑顔がかわいい」「実習を通して学ぶことが多かった」「早く保育者になりたい!!」など、保育者としてのやりがいを感じ意欲を高めています。

専攻科(1年間)で学び介護福祉士も取得

本学には、保育士資格に重ねて、1年間で介護福祉士資格(国家資格)取得を目指す養成課程「専攻科(介護福祉専攻)」のコースが設置されています。保育学科と専攻科の3年間を通して養われる広い視野と対人援助の知識・技術・職業意識は、様々な課題が山積する現在の少子高齢社会において求められる専門性です。保育学科での学びを根幹に、人の尊厳を支える倫理観や医療的ケア・介護技術の実践力は地域社会から高い評価を得ており、卒業生は、保育、障害児：者支援や高齢者ケアの広い分野で活躍しています。両分野の強みを多方面で活かし、将来、転職やキャリアアップにも有利となることでしょう。

専攻科 ▶ P24

令和6年3月卒業生

保育学科 免許・資格取得者数 卒業生 87名

- 幼稚園教諭二種免許状 …………… 取得者数 **82名**
(取得率94.3%)
- 保育士資格 …………… 取得者数 **87名**
(取得率100%)
- レクリエーション・インストラクター資格 … 取得者数 **11名**
- 認定ベビーシッター資格 …………… 取得者数 **44名**
- こども音楽療育士資格 …………… 取得者数 **12名**

[Message] 卒業生の声

新しい視点での保育

認定こども園 あおば幼稚園 勤務

岩井(濱岡) 美帆 さん

令和3年3月卒 ●東筑紫学園高等学校出身

保育教諭として働き始めて4年目になりますが、現在は一年間の育休中です。現在勤めている園には教育実習でもお世話になり、園長先生はじめ先輩方の優しさや子どもと同じ目線で楽しく保育をする姿を見て共に働きたく就職いたしました。日々、子どもたちの貴重な成長の様子を傍で見守ることができることに楽しさや喜び、感動を味わわせてもらっています。

大学で学んだ子どもの成長段階やそれに応じた支援、対応の仕方は保育現場ではもちろん、子育てにも大きく役立っています。

母となり子育てを行う中で母親・保護者としての思いが湧き、改めて大切な子どもを預けてくださっていることへの有り難さを感じます。また子どもに対する考え方も育児を通して変わってきました。

一年後に成長した子どもたちに会えることがとても楽しみです。

また、復帰後は、保育者としてだけでなく、一人の母親として子どもたちや保護者と接することから、新たな視点で声掛けや援助ができるよう努めています。



子どもたちに囲まれ笑顔の絶えない毎日！

認定こども園 東筑紫短期大学附属幼稚園 勤務

佐藤 瑠唯 さん

令和3年3月卒 ●折尾愛真高等学校出身

保育教諭として働き始めて今年で4年目を迎えました。

私は幼少期の頃から保育者という仕事に憧れを抱き、子どもたちと関わる仕事に就きたいと思い東筑紫短期大学の保育学科に入学をしました。大学時代はコロナ禍の中でも先生方の心強いサポートがあり充実した日々を送ることができました。

私は現在勤めている附属幼稚園に教育実習でお世話になりました。そこで子どもたちに明るく接したり一人一人の個性を尊重しながらじっくりと向き合ったりしている先生方に強く惹かれ、このような保育者になりたいと思い本園を希望し就職しました。遊びたい気持ちばかりの学生の頃とは違い、社会人になると子どもの命を預かる保育者として責任の重さに不安を感じ、「自分にはできない」と思い悩む日もありました。しかし憧れていた先生方にアドバイスをいただきながら、子どもたちにとっての過ごしやすい環境や自分にできる保育を考え、実践していく中で子どもたちから「楽しい」という声が聞けた時はとてもやりがいを感じ日々学ぶことの大切さを実感しています。

将来に不安を抱えている学生さんたちはたくさんいるかと思います。私もそうでしたが子どもたちの笑顔や成長を近くで見守ることができるこの仕事は本当に素敵だと思います。ぜひ保育者を目指して頑張ってください。皆さんのことを陰ながら応援しています。



目標とする免許・資格

- ・幼稚園教諭二種免許状
- ・保育士
- ・レクリエーション・インストラクター
- ・認定ベビーシッター
- ・こども音楽療育士
- ・社会福祉主事任用資格

将来の職場

免許・資格を活かして、幼稚園・保育所(園)の保育者になることや乳児院の保育士や認定ベビーシッターとしての家庭訪問保育も可能です。また、18歳までの子どもたちを援助する児童養護施設や障害児支援施設(かつての知的障害児施設、知的障害児通園施設、肢体不自由児施設、重症心身障害児施設等)など多くの福祉施設で入所児・者を支援する仕事を担当することもできます。

幅広い知識を備えた 実践的な栄養士の育成



土谷 政代
TSUCHIYA MASAYO
食物栄養学科長

東筑紫短期大学食物栄養学科は、創設66年の長い歴史と伝統をもち、北九州唯一の栄養士養成校として実践的な栄養士の育成に努めています。卒業生の多くが栄養士・管理栄養士として病院、福祉施設、教育機関などに勤務し、地域に根ざした健康づくりの担い手として活躍しています。

本学科の特色についてご紹介いたします。まず一つ目に、実験実習を多く取り入れ、実学教育を中心としたカリキュラムを取り入れていること。二つ目に、クラス担任制による学生へのきめ細かな指導を行っており、学生と教員の距離が近いこと。三つ目に、「栄養士免許」だけでなく、学校の教員である「栄養教諭二種免許」や医療関係の「医療秘書実務士資格」、食品の知識を生かした「フードスペシャリスト資格」など

多数のライセンスが取得できること。四つ目に、九州栄養福祉大学3年次への編入制度があること。五つ目に、学費を全額・半額免除する「特待生制度」を導入していることです。

これらの特色を体系的に進めながら、短大卒業後の就職の幅を広げ、本学の建学の精神である「筑紫の心」に基づいた人間力を育成することで、近年連続、就職率100%の高い実績を堅持しています。

学生の皆さんが、栄養士としての実践的な知識や多様な技術を修得するとともに、本学の建学の精神である勇気・親和・愛・知性が調和した「筑紫の心」の豊かな人間性を育み、学生生活において充実した学びができるよう支援してまいります。

「食べることは生きること」 毎日の食事で食べたものが栄養となって身体をつくり、人生をつくるといっても過言ではありません。

人生100年時代を健康で生きるために、栄養士の果たす役割は大きいと考えます。自分や大切な家族の健康はもちろん、人々の健康作りをサポートできる栄養士を目指しませんか。

小学校や病院などで臨機応変な実践力を

栄養士の免許取得のための実習は小学校での学校給食実習の他に学生自身が自分の将来の就職先を考え、福祉施設や事業所病院などから選択して一週間の実習を体験します。たとえば、病院実習では患者さんの年齢や症状に適した治療食の献立作成や管理栄養士による食事指導の見学など、実践の場での栄養士としての応用力を養います。

現場で医療事務と食事指導の技量を発揮

最近では生活習慣病やメタボリックシンドロームが増え、食事療法の大切さがクローズアップされています。本学で取得できる「医療秘書実務士」は、病院・医院で窓口業務や事務処理を担当するだけでなく、栄養士の専門知識・技術を生かしながら外来患者さんに食事指導ができます。このように、プラスαの能力を身に付けることによって、自分の可能性を広げることができます。

目標とする免許・資格

- ・栄養士
- ・栄養教諭二種免許状
- ・フードスペシャリスト
- ・医療秘書実務士
- ・日商PC検定(文書作成)

将来の職場

栄養士として、病院や小学校、さらに企業の社員食堂の調理担当、保育所や老人保健施設・特別養護老人ホームでの献立作成など、広範囲な食に関わる職場で能力を発揮することができます。

加えて、病院・医院で医療事務スタッフとしての仕事と栄養管理・栄養指導の役割を兼ねれば、専門職としての高い評価を受けることでしょう。

令和6年3月卒業生

食物栄養学科 免許・資格取得者数 卒業生 74名

● 栄養士免許	取得者数 72名 (取得率97.3%)	● 医療秘書実務士	取得者数 20名
● 栄養教諭二種免許状	取得者数 16名	● フードスペシャリスト資格認定試験	合格者 7名 /受験者 8名

[Message] 卒業生の声

治療の一環である「食」を通して

社会医療法人 北九州若杉病院 勤務

中村 涼華 さん

令和3年3月卒 ●福岡県立折尾高等学校出身

私は現在、北九州病院で栄養士として働いています。主な業務内容は、患者様の病態に合わせた食事づくりです。

特に糖尿病や高血圧の患者様が多く入院されているため、砂糖の代わりにラカントやマービーという人工甘味料を、醤油の代わりに減塩のものを使用したりと食事は治療の一環であることを基本に美味しい治療食の提供に努めています。実際に患者様からお礼のお手紙をいただいたりすると、また頑張ろうという気持ちになれます。

そして在学中に学んだ、全ての講義や実習は社会人になってからも役立っています。私は在学中に専門フードスペシャリストの資格を取得しました。この資格を取得するにあたって、食物に関する多くの知識が身につきました。

また職場の雰囲気の良さも今の仕事が続けられている理由の一つだと思います。栄養科は幅広い世代の方たちがいますが、全員が思いやりを持っていて、とてもあたたかい職場です。

現在は栄養士として調理業務に携わっていますが、実際にコミュニケーションをとりながら栄養指導が行える管理栄養士の資格を取得したいと考えています。「食」を通して社会に貢献できる栄養士になれるように一緒に頑張りましょう。



栄養士とは違う道

九州栄養福祉大学 南区キャンパス 教務課 勤務

樋口 実夏 さん

令和3年3月卒 ●八幡中央高校出身

私は、食物栄養学科を卒業後すぐに九州栄養福祉大学南区キャンパスの教務課で働いています。

主な業務内容は、授業や定期試験の運営・サポートをはじめとする、学生が学習に取り組める環境整備等です。業務の中で学生と関わる機会も多く、人と関わる仕事に就きたかった私にとってはやりがいのある仕事だと感じています。

また教務の仕事では、天候などによる急なスケジュール変更や授業中の機材トラブルなど臨機応変な対応が求められます。入職したての頃は、不安も多く、急な変更には戸惑う場面も多かったのですが、経験を重ねることで柔軟に対応できるようになりました。

栄養士とは違う道を選んだため、短大生活で学んだ専門的な知識を活かす機会に恵まれないことに、当初は大きな不安もありました。しかし学生と密に関わることができ、その中で自分自身の成長を実感することのできる大学職員という仕事を選んで良かったなど、今は思っています。

2年間という短い短大生活ではありますが、みなさんがゆっくり焦らず自分のいきたいと思える道を見つけられるような時間になることを願っています。



「保育士と介護福祉士」 二つの資格を有する専門職として



寺本 普見子
TERAMOTO FUMIKO
専攻科(介護福祉専攻)長

本学専攻科(介護福祉専攻)は、少子高齢社会に山積する課題を見据え、保育士と介護福祉士の両資格を有して社会に貢献する人材の育成を志向し2002年に設置されました。保育士資格取得者が、一年間で、介護福祉士の資格を目指すことがねらいです。

保育学科で培った建学の精神を礎に、本科で介護福祉の分野を学んだ卒業生たちは、保育士や幼稚園教諭の資格とともに、介護福祉士の知識、技術を兼ね備え、現代社会の複雑なニーズや課題に広い視野で対応できる専門職として、子ども、障害者、高齢者、医療の分野で活躍しています。

私たちは現在、豊かな社会で暮らしていると言えるのかもしれませんが、しかし、生活には不安や心配事が多く、教育や就職、子育て、介護など、ライフステージの様々な場面で安心感を抱けないことも多くなりました。働き方や家族のあり方、価値観が多様化した社会において、子どもたちや高齢

者を取り巻く環境も変容し、新たな福祉ニーズも派生しています。本科では、このような社会状況において対人専門職として必要とされる二つの力、想像力 (Imagination) と創造力 (Creation) を養うことを大切にしています。介護福祉士養成課程の四領域の充実とともに、学生の主体性や習得力を拡充するための学外授業や各種研修、実習施設との協働体制。また、現代社会のニーズに即した「医療的ケア児支援」「介護ロボット・ICT」の授業を新たに導入。確かな専門性に基づく状況判断と的確な技術提供、目の前にいる方の心に寄り添い安心できる生活を支援する人材の育成に全力で取り組んでいます。近年、本科の国家試験合格率は100%で、受験生全員が高得点で合格を手にしています。就職につきましても多くの事業所から高い信頼を得ており、学生は希望する分野の職に従事しています。

保育学科と専攻科(介護福祉専攻)の学びは、連動し融合され、人間の発達やライフステージ全体の課題を見通す力を養います。東筑紫短期大学の三年間は、子どもたちや保護者、支援を必要とする障害者や高齢者を支えるプロフェSSIONナルへの道筋です。様々な分野に対応できる専門職はやりがいも大きく、笑顔や心の交流があり喜びもひとしおです。“実り多い三年間”、皆さんとともに過ごしてみませんか。

【専攻科(介護福祉専攻)出願資格】

- ・保育士資格を取得している方
- ・2025年(3月)までに保育士資格を取得見込みの方

目標とする免許・資格

- ・介護福祉士
- ・福祉住環境コーディネーター 2級・3級
(当検定試験のための対策授業があります)

将来の職場

- ・介護保険施設
- ・グループホーム、居宅サービス、病院
- ・障がい者(児)支援施設
- ・保育所、児童福祉施設
- ・幼稚園 など

第36回 介護福祉士国家試験

本学合格率

100%

11名合格/11名受験
全国合格率平均 82.8%

[Message] 卒業生の声

保育も介護も学べる強み

学校法人 三島学園 乳山幼稚園 勤務

川本 彩乃さん

令和4年3月卒 ●福岡県立八幡中央高等学校出身

私は専攻科を卒業後、学校法人三島学園乳山幼稚園に就職し、介護ではなく保育の道に進みました。今年で就職して2年目になりますが、毎日子どもたちと共に気づき、学んで成長していく日々を送っています。

就職1年目の当初は、いきなり年少組の担任で、園の流れも子どもたちとの関わり方も分からず不安だらけの毎日でしたが、優しい先輩方にたくさん助けていただき、1年間をやり通す事ができました。

専攻科での学びも保育に役立っています。専攻科では介護の技術はもちろん、子どもの障害についても勉強します。このような知識がある事は将来様々な子どもと関わる中でとても強みになると考えています。また介護を学んでいく中で、様々なコミュニケーションの方法やレクリエーションなども学び、保育との繋がりを感じる事ができました。実際に今保育をする中でも専攻科での経験が活かされていると感じています。

介護職と保育職は共通点の多い職業だと思います。一人ひとりに寄り添い、尊重し、その人生に携わっていく。どちらも人との関わりがとても大切でとてもやりがいのある仕事です。専攻科に通うことでより一層そう感じる事ができました。



介護福祉士として働いて

医療法人 寿芳会 住宅型有料老人ホーム うみかぜ 勤務

中村 愛里澄さん

令和4年3月卒 ●福岡県立八幡中央高等学校出身

私は医療法人寿芳会住宅型有料老人ホーム『うみかぜ』で働いています。

主な仕事として、入居者の身体介助や生活援助等を行っています。

最初は私の性格が人見知りであったこともあり、入居者の方とあまり言葉を交わせず、信頼関係を築くことに難しさを感じていました。しかし、在学中に学んだことや日々の言葉かけによって笑顔でお話ができるようになってきました。例えば言葉とともに身振り手振りで表現すること、緊張させないように入居者の方と同じ目線になりお話をすること等を意識して行っています。就職して1年程経過し、まだ一人では不安な業務もあります。しかし、入居者の方から笑顔で「ありがとう」と感謝の声を掛けられることが増え、仕事をするやりがいにもなっています。

専攻科では、クラスが少人数であったため先生方との距離も近く、楽しんで講義を受けることができました。

在学中は介護福祉士の資格を取得することを目標にして学んでいました。しかし、専攻科で学んだことや実習で経験したこと全てが、介護福祉士として働く際はもちろん、人間関係の構築にも役に立っている事を感じています。

1年という短い期間ではありますが、学びや経験が沢山あるので、目一杯楽しんでください。応援しています。

職業選択の幅が大きく広がる2つの資格

保育士資格をお持ちの方は、1年間で介護福祉士の国家資格取得を目指すことができます。児童福祉分野の専門性に加えて、高齢者や障がい者の介護福祉を学ぶことにより、幅広く職種を選択することができます。社会に求められる二つの国家資格は、将来長く多方面で活かされ、転職や自分の可能性を広げることができます。

いま求められている介護福祉の専門家たち

高齢者や障害者、子どもたちを取り巻く環境には様々な課題があります。

本科は、子どもの育成と高齢者・障害者福祉の課題に貢献できる保育士資格を持つ介護福祉士を育成しています。本学は、保育学科の伝統を踏まえ、専攻科（介護福祉専攻）を設置しています。社会情勢の変化により、介護福祉士を取り巻く環境は変化し、保育の現場や在宅においても障がい児への支援が求められています。講義や演習、実習、学外研修等とおして、その人らしさを支える豊かな人間性を備えた保育士と介護福祉士の専門家を育てています。将来、子どもから高齢者の笑顔を支え、地域社会へ貢献できる人材として活躍していくことができます。

学 生 活 動 紹 介

～北九州市私立幼稚園PTA大会プレイベント～ 「LOVE & SMILE ウォーターゲーム2023」

日時：令和5年9月16日(土) 9時～12時
場所：勝山公園芝生広場(小倉北区内)

11月開催の「北九州市私立幼稚園PTA連合会第60回記念大会」のプレイベントとして、市内の私立幼稚園に通う園児と保護者、総勢400名による水鉄砲合戦が開催されました。北九州市長も参加しての、準備体操、ウォーターゲーム、全員による水かけ合戦が行われ、市役所前の芝生広場が子どもたちのたくさんの笑顔で埋め尽くされました。保育学科の学生はボランティアとして、他大学の学生と一緒に「縁日遊び(水鉄砲、的あて、水風船、魚釣り、ポーリング)」を担当しました。大きなイベントでの子どもへのサポート、配慮事項、子どもの姿をみる視点など、各園での実習とはまた違った学びがありました。



～運動能力測定会「キッズチャレンジ」～

日時：令和5年9月23日(土) 10時～16時
場所：イオンモール八幡東

にぎやかなショッピングモール内の広場に「キッズチャレンジ」のコーナーが設けられ、(ジグザグ走り)(一本橋わり)(鉄棒)など様々な運動能力を測定する道具が配置されました。本学保育学科2年生が受付、タイムの計測、鉄棒の補助などそれぞれに役割を担い、子どもたちと会話をしたり励ましたりしながら運営補助を行いました。

一歳児から小学生までの幅広い年齢の子どもたちを対象に、ルールの説明方法を臨機応変に行い、実際に動いてお手本を見せる等、一人ひとりが良く考えて行動することができ、良い経験となりました。

測定終了後に学生手作りのごほうびペンダントを受け取り、嬉しそうな子どもたちの笑顔があふれました。



～専攻科 学外研修～

「かぞくのかたちファッションショー」ボランティア参加

日時：令和6年2月17日(土) 11時45分～17時
場所：社会福祉法人もやい聖友会 银杏庵穴生倶楽部

特別養護老人ホーム银杏庵穴生倶楽部を会場として、利用者の方が出演されるファッションショーのサポートボランティア活動に学生と教員で参加しました。コミュニケーションを取りながら、更衣や誘導をサポートし、待ち時間やヘアメイク中に不安なく安全に過ごして頂けるように心がけました。

認知症の方や、障害を持った初対面の方への対応に、はじめは戸惑いもありましたが、時間の経過とともにスムーズで臨機応変な対応ができ、主催者や関係者から大変感謝されました。出演した利用者の方が生き生きとポーズをとる姿やご家族の嬉しそうな様子に、社会貢献の意義を実感した1日となりました。



高齢者支援事業所・TOTOミュージアム

日時：令和6年4月19日(金) 10時～15時
場所：年長者の里小倉三萩野・TOTOミュージアム

特定社会福祉法人年長者の里では敷地内に設置されている高齢者支援事業所(4ヶ所)を見学し、説明をしっかりと聞きながら、ケアに大切な視点について理解を深めました。また、地域の方に憩いの場を提供する目的で併設されているプラネタリウムでは素敵な北九州の天体ショーを体験させて頂くとともに、地域とつながる重要性を学ぶ機会となりました。

TOTOミュージアムでは、水回りの住環境の歴史や最新の仕様を見学しました。入浴、排せつ、調理に関する最新の設備やバリアフリー仕様について学びました。入学直後の研修であり、学生相互及び学生と教員との交流も深まる有意義な研修となりました。



学園・地域交流報告

～東筑紫短期大学附属幼稚園年長組園児、到津地区住民の皆さん、保育学科2年生～

こいのぼり交流会

日時：令和6年4月25日(木) 10時30分～
場所：板櫃川 到津地区「到津こいのぼりまつり」



◇園児と学生がペアを組み、手をつないで出発

春の陽気や春風を感じながら、交通ルールを守って安全に歩きます。学生は子どもたちに笑顔で話しかけながら、前後・左右の安全も確認します。川が近くなり、すでに泳いでいるこいのぼりを見つけ、みんなワクワクです。

◇到津八幡橋に到着

到津地区会長の村上さんが子どもたちに優しくお話をしてくださり、園児も学生も元気に挨拶とお礼を伝えることができました。

◇いよいよ園児手作りのこいのぼりを泳がせます

地域の方が手伝ってくださり、川の両側でロープを引っ張り、園児たちの目の前で見事こいのぼりがあがっていきます。学生も一緒に「こいのぼり～あがったあがった」を歌いながら「こいのぼりさ～ん、がんばれ！がんばれ！」と応援しました。

保育学科生は 領域「表現」(木本節子教授)の授業として『楽しさや親しみをもって園児と交流し幼児理解を深めることや、地域の方々との交流を経験し、日本の伝統文化を大切にすることを学ぶ』といった目的をもち、領域「表現」にとどまらない総合的指導(総合学習)への理解につなげていく、貴重な体験となりました。

後日、本城東幼稚園(八幡西区;園長先生をはじめ多数の本学卒業生が活躍中)の園児とも同様に「こいのぼりの交流会」を行いました。ここでも地域交流の輪が広がりました。



学園交流報告

～東筑紫学園高校食物文化科、短大食物栄養学科～

高大連携授業

◇令和6年1月29日(月) 食物文化科 1年生(35名)
『顕微鏡でいろいろなものを観察してみよう』

◇令和6年2月26日(月) 食物文化科2年生(28名)
『大量調理機器を使って集団給食の調理にチャレンジしよう』

◇令和6年6月10日(月) 食物文化科2年生(33名)
『人工イクラの仕組みを使って酵母の発酵について学ぼう』



令和6年2月26日(月) 『大量調理機器を使って集団給食の調理にチャレンジしよう』レポート

「洗米機」や「球根皮むき機」、「スチームコンベクションオープン」、「回転釜」、「プラストチャー」など、初めて使用する大量調理機器に興味をもち、作業区域の区分や使い捨て手袋の使い方、中心温度測定などの集団給食の衛生管理についても学びました。

(生徒の感想)

- ・大量調理の機器を使った実習は初めてだったので、とてもわくわくしました。
- ・衛生管理が徹底していて、通常調理との違いを実感した。
- ・設備が整っていて充実していたのが良かった。
- ・カレーも温野菜サラダもとても美味しかったし、サラダは家でも試したいと思った。
- ・先生や学生さんがすごくフレンドリーで、よくしてもらったので楽しく学ぶことができました。



就職指導課長 松成 翔

本学では、設置する各学科・専攻科の特性を活かしながら専門性の習熟だけにとどまらない、建学の精神である「筑紫の心」にある勇気・親和・愛・知性の四領域の調和・統合を目標とした人格教育にも取り組んできました。

本年度においても希望する全ての卒業生が就職という進路に到達することができました。これらは卒業生一人ひとりの努力の結果であると同時に、各クラス担任の先生方と就職指導課が緊密に連携するなど、教職員が一丸となって支援する教職協働の成果であるとも認識しています。

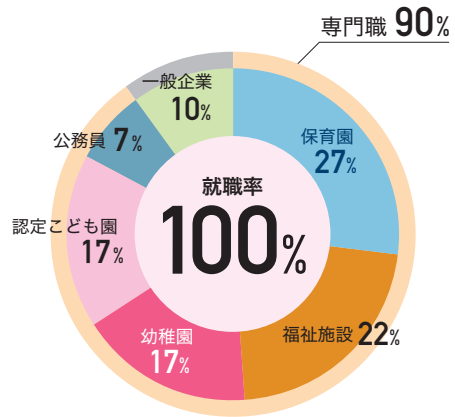
また、就職指導課では多様化する学生からの要望に対応すべく、年間を通じてオリエンテーションやキャリアガイダンス、学内個別企業説明会など就職支援に係る様々なイベントの企画・運営に従事するとともにICTを利活用した情報発信の最適化にも取り組んでいます。併せて個別の学生相談にも柔軟に対応し、本人の希望や個性の把握にも努め、公平かつ有益な支援が提供できる体制を整えています。

変化の激しい時代の中でも、卒業生諸君が本学で学んだ専門知識と豊かな人間性を発揮し地域社会から必要とされる人材へと飛躍してくれることを願っています。

保育学科

全国的な少子化の中、専門職の強みを大いに発揮し高い就職率を上げることができました。これも偏に本学の教育にご理解を頂き、採用して頂いた保育園、幼稚園、施設、企業の皆様のお蔭と弁え、ますます教育に力を入れていきたいと考えています。また、卒業生が様々な職場で活躍していることも、この結果に繋がっていることを理解し感謝致しております。こうした要因のある中、学生一人ひとりの地道な努力と本年の卒業生が本学で学んだ専門知識・技術や経験を十分発揮し、社会貢献してくれることを切に祈っております。

(社福)北九州市福祉事業団、(社福)北九州市小倉社会事業協会、(社福)北九州市門司民生事業協会、(社福)北九州市保育事業協会、(学)東筑紫学園 認定こども園東筑紫短期大学附属幼稚園、(学)あおば学園 認定こども園 あおば幼稚園、(学)川江学園 認定こども園 お宮の里幼稚園、(学)水巻学園 幼保連携型認定こども園 水巻幼稚園、(学)もみじ学園 認定こども園 もみじ幼稚園、(社福)四恩学園 四恩こども園、(社福)和泉会 認定こども園ときいろ、(社福)護法会 みのりこども園、(学)田淵学園 長行幼稚園、(学)こども園 きつづくくらみなみ、(学)谷川学園 こみね星ヶ丘幼稚園、(学)村端学園 志井幼稚園、(学)村端学園 志徳幼稚園、(学)清鷹学園 清和幼稚園、(学)北九州文化学園 第二文化幼稚園、(学)中間東学園 中間南幼稚園、(学)井上学園 西門司幼稚園、(学)むつみ学園 むつみ幼稚園、(社福)勝山園 勝山保育園、(社福)感田福祉会 感田保育園、(社福)晴光会 光沢寺保育園、(社福)晴光会 光沢寺第二保育園、(社福)真祐会 白銀保育所、(社福)小倉新栄会 新栄たてまち保育園、(社福)いわき福祉会 てんらいじ保育園、(社福)西合志中央保育園、(社福)双葉会 双葉保育園、(社福)木の実保育園、(社福)三明会 豊北きらきら保育園、(社福)きずな 弥生保育園、(株)ビザライ うららか保育園、(株)NOVA ホールディングス じぶんみらい保育園水巻、(株)リハピス みらこ保育園、(社福)カリタスの園 天使育児園、(社福)コスモス聖会・コスモス健幸会、(社福)誠慈会 児童養護施設 誠慈学園、(社福)中部少年学院、(社福)双葉会 児童養護施設 双葉学園、(有)富士商事 放課後等デイサービス SUNNYSIDE、(医)はるか 聖ヨハネ病院、(医)なかお歯科 北九州セントラル歯科、(医)はらだ歯科・矯正歯科、朝日カルチャーセンター北九州校、オーケー食品工業株式会社、(株)オリブスパ、(株)テノ・コーポレーション ほっぺるらんど穴生、(株)wafel



就職希望者数 70名
就職者数 70名
【令和6年3月卒業生実績】

公務員 北九州市職員(保育士)、福岡市職員(保育士)、中津市職員(保育士)、下関市職員(保育教諭)

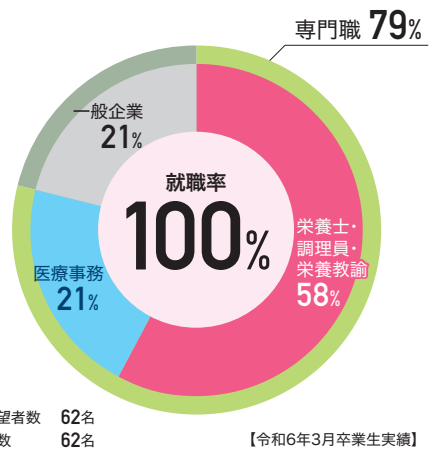


『教育懇談会』風景

食物栄養学科

食について専門性の高い教育を行い、人間にとって重要な食分野で社会的貢献のできる人材の育成に力を入れています。そして社会人になるにあたり、資格を持つということは単に就職という一時点の優位性だけではなく、生涯に及んでその人の人生を豊かで可能性の高いものにしていくと理解できるように教育を行っています。また、自分の将来性の方向をその資格の範囲でしか見ず、針の穴から覗くような、狭い価値観で就職活動をするにならないように、就職指導課では支援し、その結果、学生は社会性がありコミュニケーション能力を兼ね備えた人材として多くの内定を勝ち取りました。

(学) 東筑紫学園 九州栄養福祉大学、(学) 九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学、(学) 東筑紫学園 東筑紫短期大学 食物栄養学科、(社医) 陽明会小波瀬病院、(社医) 玄真堂 川島整形外科、(社医) 北九州病院、(医) みちおかレディースクリニック、(医社) 春秋会 南長崎クリニック、(医社) 翠会 行橋記念病院、(医) 森和会 行橋中央病院、(一財) 福岡県社会保険医療協会 社会保険田川病院、(医) 仁風会 上田恵亮整形外科、(医) 宝歯会 小倉駅スマイル歯科小児歯科医院、(医) 青樹会 松延歯科医院、(医) 村上歯科医院、(医) 一颯会 よつば歯科クリニック、(医) Smile Design ひうら歯科クリニック、橋本歯科、一枝クリニック、(社福) 春秋会 特別養護老人ホーム 好日苑、(社福) 福祉松快園、(社福) ふらて福祉会、(学) 大浦学園 門司こぼと幼稚園、(社福) 赤間福祉会 赤間保育園・第二赤間保育園、(社福) 片野福祉会 片野保育園、(社福) 勝山園 勝山保育園、(社福) 木の実保育園、(社福) くすの樹会 (あじさい保育園・鯉田こども園・銀杏保育園)、(社福) 照宝会 昭和保育園、(社福) 真祐会 認定こども園 (リアンたかのす保育園・リアンはなお保育園)、(社福) 天真会 (真愛保育園・いろどり真愛保育園・ひがしふくま真愛保育園)、(社福) 洞海福祉会 若竹保育園、(社福) みのり保育園、(社福) 夢創 (嘉穂らいむ保育園/飯塚らいむ保育園/らいく飯塚店等)、(社福) 夢工房、(社



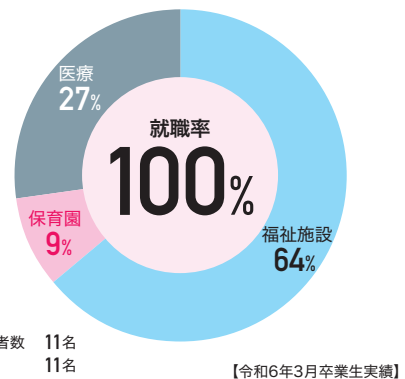
福) 若杉会 (池田保育園・いけだつぼみほいくえん)、(宗) 天理教 保育土育成委員会 白梅寮、日清医療食品株式会社 福岡支店、(株) LEOC、一富士フードサービス株式会社、新日本給食株式会社、富士産業株式会社、東屋敷克則税理士事務所、(有) アラモード アラ・モード洋菓子店、Rinca あじと、(株) アクティブ・オペレーションズ、(株) エディオ、(株) おんが自動車学校、(株) シティラインサービス、(株) タカサキ、(株) プリオ プリオスイミングスクール、(株) みらい、(株) リーガロイヤルホテル小倉、(株) AHB ベットプラス小倉南店、株式会社アーキ・ジャパン、共同エンジニアリング株式会社

進学 (学) 東筑紫学園 九州栄養福祉大学 食物栄養学部 食物栄養学科、(学) 辻調理学館 辻調理師専門学校

専攻科

全員が介護福祉士の資格を取得し、希望の介護福祉関係の職場に就職することができました。高齢化社会での福祉の担い手として活躍してくれることを楽しみに、今後も地道な教育を行い、福祉の世界で社会的貢献のできる人材を育成して参ります。

(医) 真鶴会 小倉第一病院、(特医) 茜会 在宅総合ケアセンターしものせき、(特社) 年長者の里、(社福) 北九州あゆみの会、(社福) 北九州市福祉事業団、(社福) 法順会 足原だきしめ保育園、(社福) 広寿会 足原のぞみ苑、(株) プロデュース グループホームきらめき、西鉄ケアサービス株式会社



進学・編入学など

(学) 東筑紫学園 九州栄養福祉大学
食物栄養学部 食物栄養学科 …………… 9名
(学) 東筑紫学園 東筑紫短期大学
専攻科 (介護福祉専攻) …………… 13名
(学) 辻調理学館 辻調理師専門学校 …………… 1名
大谷専修学院 …………… 1名

支援スケジュール

4月	●就職オリエンテーション/2年(就職支援内容・スタッフの紹介)
5月	●就職ガイダンス/2年(就職活動の進め方、自己分析方法・履歴書の作成について等) ●個人面談/2年(希望する業種の確認、求人票の提示、応募書類の作成、面接練習等)
6月	●卒業生の講演/2年(在学生に向けたアドバイス・社会人として働くうえで気を付けるべきこと等) ●就職ガイダンス/2年(幼児教育・幼児保育関係団体と連携して開催) ●外来講師の講演/2年(幼児教育・幼児保育関係管理職者からの講演等)
7月	●就職ガイダンス/1年(就職支援内容・スタッフの紹介、過年度の求人数・就職状況について等) ●外来講師の講演/2年(就職活動の進め方、自己分析方法・履歴書の作成について等)
9月	●就職ガイダンス/2年(履歴書の作成・面接対策について等) ●個人面談/2年(応募書類の作成・面接練習等)
12月	●卒業生の講演/2年(在学生に向けたアドバイス・社会人として働くうえで気を付けるべきこと等) ●外来講師の講演/2年(食物栄養学科在学生へ向けてのマナー講座)
1月	●就職ガイダンス/1年(就職活動を終えた2年生から就職活動のスケジュールや対策方法、在学生に向けたアドバイス・メッセージなど) ●業界・業種研究会等/1年

※略称表記について

(学) = 学校法人、(社福) = 社会福祉法人、(医) = 医療法人、
(株) = 株式会社、(有) = 有限会社、(同) = 合同会社

産官学連携活動

トマトのおんがえしカレーに続く、第2弾!! 『トマトのおんがえしサブレ』商品開発
～響灘菜園の年間100t規格外トマトの復活を目指す課題解決プロジェクト～

九州栄養福祉大学×北九州市立高校(高大連携)×GRAN DA ZUR

大学祭で産・官・学連携シンポジウムを開催しました

響灘菜園さんの規格外トマトを復活させる思いで、北九州市・企業と連携して第1弾「トマトのおんがえしカレー」の開発を行い、規格外トマト100t中1tのトマトを復活させました。

第2弾は、「トマトのおんがえしサブレ」として、サブレ5枚でトマト1.5個分を摂取できる栄養価の高いサブレを作りました。レシピの開発については、将来、管理栄養士になる学生が考案し、マーケティングについては、北九州市立高校が中心となり何度も打ち合わせをし、商品開発を進めてきました。製造に関しては、北九州のお土産でGRAN DA ZURさんに協力を頂きました。

第2弾も、売り上げの一部は北九州市子ども食堂に寄付し、「子どもの居場所づくり」の実現を目指します!



第1弾 大学祭「What's your blossom? ～笑顔の花～」
高大連携地域おこしで社会課題解決
北九州市×企業×北九州市立高校×九栄大
～トマトのおんがえしカレー開発からこれからの展開へ～

11月3日(金)
13:00～14:30

【場 所】九州栄養福祉大学 小倉北区キャンパス 講堂

【参加費】無料

【主催】九州栄養福祉大学

【共 催】北九州市立高等学校

【協力】GRAN DA ZUR
子ども食堂ネットワーク北九州
響灘菜園、ローソン九州商品部

～プログラム～
トマトのおんがえしカレーに続く第2弾として、規格外野菜の使用について学生・企業・行政と連携し、商品開発を目指しています。ぜひ、みんなで一緒に、これからの社会課題の解決をしていきませんか?
～当日の流れ～
・始りの挨拶
・九州栄養福祉大学大学生発表
～トマトカレーからトマトサブレ開発について～
・北九州市立高校学生発表
～地域おこしに繋がる販売方法～
・GRAN DA ZUR 代表取締役社長 吉武太志様
～ネジチョコの誕生、これからの北九州のお土産への展開～
・子ども食堂ネットワーク北九州代表 大村美智子教授
・北九州市子ども家庭局子育て支援課 上島未知人様
～北九州市子ども食堂の現状とこれから～
・合同シンポジウム
・園児よりトマト味のメカサブレの感想
・終わりの挨拶

※中学生以下のご参加は保護者同伴でお願いします。
※大学祭のため近隣駐車場及び交通機関を使用してご来校ください。

【お問い合わせ】
九州栄養福祉大学 小倉北区キャンパス
TEL: 093-561-2136
お申込みはこちら

トマトのおんがえしサブレを考案中!
トマトのおんがえしメカサブレ
トマト味のメカサブレ
500セット限定!!
トマト味のメカサブレ組み立てキット
プレゼント

地域連携活動

【黒崎こども商店街】 黒崎こども商店街

2023
★ゆめをそだてる★

黒崎こども商店街
～楽しいのほどもだけじやない!～

2018.11/10(土)
時間: 10:00～17:45 会場: 黒崎商店街と黒崎地区

楽しいイベント
たくさん!!

無料体験コーナー
いろいろな体験をしてみよう!!

スタンプラリー
スタンプを集めて
商品ももらおう!!

食と雑貨も沢山!!
各地より黒崎に
約70店舗が
集結!!

令和5年11月11日(土)八幡西区黒崎商店街で開催され、本学食物栄養学部の学生が「子どもの職業体験ブース」に参加しました。
今回は『管理栄養士を目指す学生と一緒に、飲み物の糖度を測る、様々な食品や郷土料理について学ぶ、などの体験をしてみよう』と呼びかけ、多くのご家族が参加してくれました。はてなボックスで食品を当てるクイズでは、学生たちが積極的に子どもたちとコミュニケーションを図りながら、充実した時間を過ごすことができました。





国際理解の研修は、
チャレンジ精神であり、得る物は大きく、
人生観が変わるくらい強くなりますよ。
あなたの価値観を世界のモノサシで
測ってみてはいかがでしょうか？

【国際理解(海外研修)】科目担当教員
竹並 正宏・梅崎 義雄
TAKENAMI MASAHIRO・UMESAKI YOSHIO

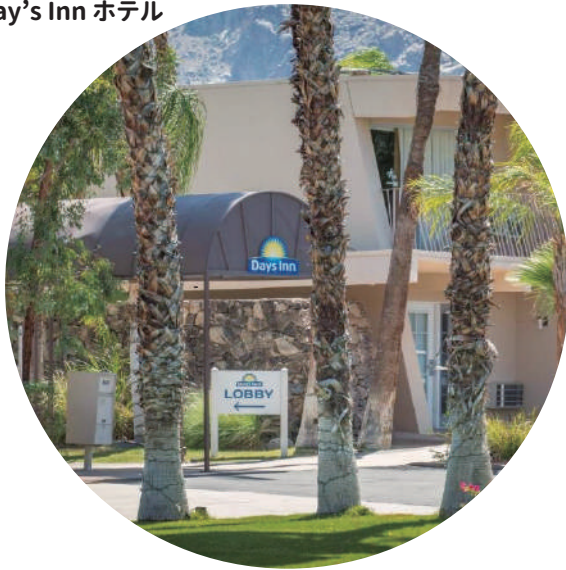


第15回 研修日程表

- 【1日目】 8/28(月) 福岡空港発 → 金海国際空港着
市内観光(南浦洞、釜山タワー、国際市場、
チャガルチ市場、ロッテデパート)
- 【2日目】 8/29(火) 終日 慶州市にて研修(パン作り)
チマチョゴリ体験
仏国寺見学
- 【3日目】 8/30(水) K-POPダンス体験
自由行動
- 【4日目】 8/31(木) 観光地見学(三光寺、その後自由行動)
金海国際空港発 → 福岡空港着

4泊7日アメリカ研修

Day's Inn ホテル



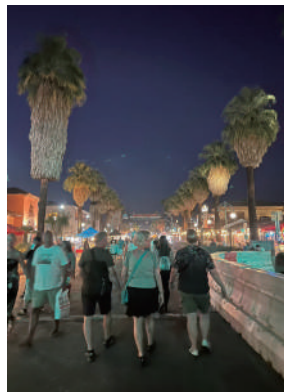
クッキングレッスン



みんなでタコス作り



州立公園でハイキング



ヴィレッジ・フェスティバル



9/4(月) 福岡空港発 → オンタリオ空港着

9/5(火) クッキングレッスン

9/6(水) ビジターセンターを訪問
サンジャシント山州立公園へ



ビジターセンター

Art crafts材料を
ゲットし、お土産
のキーホルダー
を制作

9/7(木)

ヴィレッジ・フェス
ティバルで歩行
者天国になった
大通りを散策



9/8(金) ホテルをチェックアウト
空港へ向かう途中、アウトレットに立ち寄る

9/9(土) オンタリオ発 → 台湾経由

9/10(日) → 福岡空港着



オンタリオ空港にて

国際理解研修レポート フィリピン

6泊7日セブ研修



Travelbee Inn ホテル



セブパシフィック航空機内



トロピカルドリンク



いざ、ジンベイザメ

無料朝食込



- 3/21(木)** 福岡空港発 → マニラ経由
- 3/22(金)** → セブマクタン空港着
スーパーやモールの探索
- 3/23(土)** スマホのビデオチャットでLCIC大学から九栄大に接続
- 3/24(日)** オンロブでジンベイザメと泳ぐ
- 3/25(月)** LCIC大学カフェテリアで、現地学生と交流
- 3/26(火)** NGO Anya's Home で現地の子供たちと交流
- 3/27(水)** セブマクタン空港発 → マニラ経由 → 福岡空港着



提携大学LCICの図書館で現地学生との談話



Anya's Home で子供たちと非常食作りと折り紙

九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学のキャンパスで学ぶ 北九州市立年長者研修大学校周防学舎シニアカレッジ



開校スケジュール

1 限目 (13:00 ~ 14:30)

2 限目 (14:40 ~ 16:10)

		1 限	2 限
1	9月6日 (水)	開講式 オリエンテーション	人それぞれの人との接し方 ～自分を知り、人を知る～ 東筑紫短期大学 保育学科 准教授 浦田 一幸
2	9月13日 (水)	ご存じですか？ 子どもたちの時間割の中に「いじめ」を 吹き飛ばす時間があることを 東筑紫短期大学 食物栄養学科 教授 脇田 哲郎	安心・安全に日々の生活を送りましょう！ 東筑紫短期大学 専攻科 准教授 廣藤 智之
3	9月20日 (水)	自然毒と食中毒について 九州栄養福祉大学 食物栄養学部 食物栄養学科 教授 戸田 晶久	シニアによる第4次産業革命 九州栄養福祉大学 食物栄養学部 食物栄養学科 教授 渡邊 啓一
4	9月27日 (水)	転ばぬ先の知恵 ～シニアのための転倒予防講座～ 九州栄養福祉大学 リハビリテーション学部 理学療法学科 助教 鈴木 雄太	運動と栄養で転倒予防！ 九州栄養福祉大学 リハビリテーション学部 理学療法学科 助教 長野 友彦
5	10月4日 (水)	興味と役割を楽しもう ～健康な生活を送るコツ～ 九州栄養福祉大学 リハビリテーション学部 作業療法学科 准教授 青山 克夫	日々の出来事に感謝してみよう！ 九州栄養福祉大学 リハビリテーション学部 作業療法学科 助教 久保 昂大
6	10月11日 (水)	腸から健康に ～免疫アップで感染症から身を守りましょう～ 東筑紫短期大学 食物栄養学科 講師 阿部 亜希恵	言語コミュニケーション ～伝える力を磨こう！～ 東筑紫短期大学 保育学科 講師 丸田 敦子
7	10月18日 (水)	生き生きとした高齢期を送るための食生活 九州栄養福祉大学 食物栄養学部 食物栄養学科 教授 大村 美智子	レクリエーションで心も体も元気に！ 東筑紫短期大学 保育学科 助教 齋藤 亜由実
8	10月25日 (水)	元気に長生きするために 13 ～歌と踊りと古典浪曲で楽しく学ぶ「長寿節」～ 九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学 学長 室井 廣一	閉講式

受講者の声

資料をシニア用にわかりやすくして下さったことがとても嬉しかったです。



グループ活動でいっそう皆さんとの交流ができました。



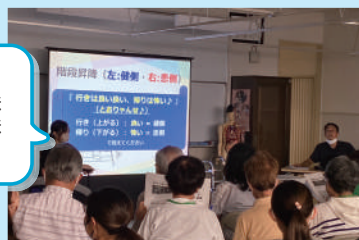
すごくお勉強になりました！



「シニアカレッジ」で学んだことが役に立つよう今後も頑張りたいと思います。



大変興味深い話でした。もっと聞きたいと思いました。ありがとうございました。



学生さんとのコミュニケーションがとても楽しかったです。毎年参加します。



九州栄養福祉大学 第20号

- リハビリテーション学部における入学前教育の取り組みの検証 石橋 敏郎・室井 廣大
- 精神科病院における集団作業療法の効果に関するスコーピング・レビュー 青山 克実・石橋 裕・山田 孝
- 地域福祉の視点からまちの活性化についての一考察Ⅱ
～ 2050年の北九州市のまちづくり構想Ⅱ ～ 竹並 正宏
- 摂食障害傾向をもつ女子学生のバウムテスト(1)
— 発症を抑制する要因についての検討 — 松本 明夫
- 大学生へのジェンダー平等教育に関する一考察 樋口 綾子
- 英語でコミュニケーション
— 英語の音作りからリスニングスキル向上へ① — 梅崎 義雄

東筑紫短期大学 第54号

- 教育職の研究 「子どもの遊び(虫とり)」 寺本 普見子
- 保育職の研究(その15)
— 「筑紫の心」と学生の資質・能力を高める為の授業方法を求めて — 木本 節子
- 「数量や図形」の感覚を豊かにする幼児教育の在り方 前川 公一
- 領域「言葉」の理解と児童文化財演習における一考察 上森 哲生・丸田 敦子
- 保育実習における実習記録に関する一考察
～ 保育ドキュメンテーション形式の実習記録について ～ 吉田 千津子
- 「遊び保育論」を読み解くⅡ 浦田 一幸
- 保育学生のリトミックに対する認識調査 齋藤 亜由実
- 施設実習における学生の「不安」への寄り添いが学びに与える影響
— アタッチメント理論から探るアプローチ — 井田 智美
- 教育職の研究(その2) 教育実習指導の取り組み
— 絵本の読み聞かせ指導の一考察 — 丸田 敦子
- 集団保育における個と集団の関係性に関する一考察
— 幼稚園教諭が抱える問題に着目した保育エピソードの分析 — 原口 直美
- 畑や農園での栽培活動(自然体験)と建学の精神に基づいた保育の在り方
— 自然の恵みに感謝して — 小島 久須美
- 保育職の研究(その2)
— 乳児期の子ども理解と子育て支援 — 本田 恵美子
- 日本の昔話における＜動機の純粋性＞に関する考察 永野 勇二
- OECDラーニング・コンパスに照らした学級活動(2)で進める食に関する指導モデル 脇田 哲郎
- PCを導入した献立作成の実践 阿部 亜希恵
- Z世代における消費行動の変化とマーケティングのあり方 林 勝裕

日本リハビリテーション発祥地記念館 九州リハビリテーション大学校記念館

見学のご案内

2017(平成29)年4月22日に開館した両記念館には、これまで、医療・福祉・行政関係者、卒業生、地域住民の皆様など、たくさんのご来館をいただきました。また、地域の市民センターと共同し、健康づくり教室の開催も4年目を迎えました。ぜひ、お誘いあわせのうえ見学にお越しください。



〈令和5年記念館来館者〉

来館日	来館者名	人数	来館日	来館者名	人数	来館日	来館者名	人数
1月12日	富家千葉病院	2	6月7日	九州栄養福祉大学卒業生	2	10月7日	地域健康づくり教室の開催① 地域健康づくり教室の開催②	27
1月26日	医療機器メーカー社員	2	6月9日	九州大谷短期大学教員	1	10月16日	認証評価委員	4
1月27日	医歯薬出版株式会社	3	6月13日	旧九州労災病院リハ診療科部長	2	10月19日	北九州市立年長者研修大学校 周望学舎 九州栄養福祉大学卒業生	38
1月28日	地域健康づくり教室の開催③	15	6月15日	東鷹高校1年生	25	10月22日	メディカルフェスタ来場者 神崎工務店 モリトー トヨタハートフルプラザ福岡・他 家族写真撮影ボランティアムック 小倉リハビリテーション病院理学療法士・ 作業療法士 北九州モルツツ(モルックチーム)	143
2月25日	地域健康づくり教室の開催④	19	6月24日	第1回オープンキャンパス参加者より	13	10月30日	受験予定高校生	2
2月27日	専門学校九州リハビリテーション大学校卒業生	2	7月22日	第2回オープンキャンパス参加者より	14	11月4日	大学祭参加者	4
3月8日	福岡県保健医療介護総務課職員	2	7月29日	放送大学教員	1	11月9日	九州栄養福祉大学卒業生	1
3月17日	九州栄養福祉大学 リハビリテーション学部卒業生	1	8月6日	第3回オープンキャンパス参加者	2	11月20日	麻生リハビリテーション大学校 在校生・教員	28
3月18日	地域健康づくり教室の開催⑤	15	8月17日	小文字病院リハビリテーションスタッフ	24	11月25日	地域健康づくり教室の開催②	16
3月31日	旧九州リハビリテーション大学校卒業生家族	4	8月19日	第4回オープンキャンパス参加者より	7	12月5日	西南学院大学 教授	2
4月8日	市内高校生	1	8月24日	小文字病院リハビリテーションスタッフ 福岡国際医療福祉大学教員	27	12月9日	受験予定高校生	2
4月18日	北九州市介護普及支援センター・ 福祉用具プラザ職員	2	8月26日	福岡県理学療法士会役員	26	12月14日	北海道せき損センター 看護師	1
4月20日	九州栄養福祉大学卒業生	2	9月4日	就職説明会参加者より	14	12月16日	地域健康づくり教室の開催③	14
5月12日	旧九州リハビリテーション大学校卒業生 九州栄養福祉大学卒業生	10	9月16日	第5回オープンキャンパス参加者より 九州栄養福祉大学卒業生	3	12月18日	九州医療スポーツ専門学校 教員	1
5月19日	九州栄養福祉大学卒業生	2	9月19日	メディア関係者	1	12月19日	北九州市立年長者研修大学校 周望学舎	24
5月26日	図書販売書店社員	2	9月23日	第6回オープンキャンパス参加者より	6			
6月2日	北九州市立年長者研修大学校 周望学舎	39	9月27日	周望学舎シニアカレッジ受講者	21			
			10月4日	周望学舎シニアカレッジ受講者	19			

北九州市民カレッジ

北九州市事業『北九州市民カレッジ』

市民の多様な学習ニーズに対応した生涯学習機会を提供し、自己実現の促進および「循環型生涯学習社会」を担う人材の育成をはかります。

様々な講座が設けられる中、本学では毎年【大学連携リレー講座】に講師を派遣しています。

●令和5年度後期

【大学連携リレー講座:大学の魅力!地域に発信!】
全5回講座の内、第5回目を九州栄養福祉大学
戸田晶久教授が講師として担当しました。

講師：九州栄養福祉大学 食物栄養学部食物栄養学科 戸田晶久 教授

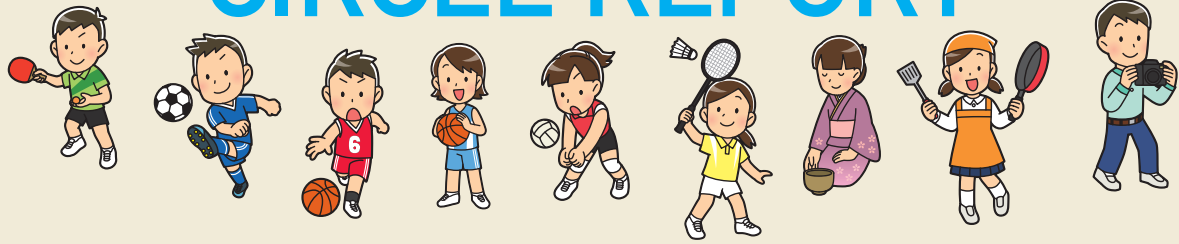
テーマ：『自然毒と食中毒』

内容：(市民カレッジ講座案内より抜粋)

「日常生活のなかで、私達は自然毒を含む食品を誤って食べることで、食中毒の被害を被ることがあります。私達の生活環境における自然毒による食中毒の危険性について紹介し、少しでも自然毒食中毒からの危険回避の一助になればと思います。」



CIRCLE REPORT



小倉北区キャンパス

クラブサークル名称	活動日付	活動名	活動内容
卓球部	5月12日～5月14日	第74回全九州学生春季卓球選手権大会	団体戦4位
	7月9日	第73回九州地区大学体育大会(卓球競技)	団体戦2位
	8月29日～8月31日	第74回全九州学生秋季卓球選手権大会	団体戦5位
ブラーシアンサンプル	1月20日	エキナカ学園祭 in 小倉駅	小倉駅のJAM広場で演奏を行った。
Smart Diet Club (部)	5月24日	市長へのトマトカレーお披露目	本校と西日本工業大学、響灘菜園、その他企業と協力して開発した「トマトの恩返しカレー」がレトルト化したため、市長にお披露目を行った。
	5月27日	ファディでのトマトカレーお披露目	カフェファディにて「トマトの恩返しカレー」の試食販売を行った。
	7月15日	世界水泳福岡2023にてお弁当販売	世界水泳福岡にて、スポーツ選手に向けた最強×西京弁当のレシピ開発を行った。
	10月25日	第36回竜王戦七番勝負にてお弁当販売	戸畑区の「ちょうじんじゃー」をモチーフにしたチョウジンジャー弁当のレシピ開発を行い、「株式会社丸ふじ」と協力し完成した。
	1月22日	テーブルマナー講座	イギリス式のテーブルマナー講座を受講した。
	1月20日	エキナカ学園祭	小倉駅のJAM広場にて、トマトの恩返しカレー、ガトーショコラ、マドレーヌを販売した。北九州市立高校と高大連携をとって売り込み、完売した。
ボランティア部	9月6日	カレッジ北九州と交流会	カレッジ北九州の皆さんと本学の学生で交流会を行った。(障がい者スポーツの体験と対談)
トライアスロン同好会	12月10日	第22回吉野ヶ里歴史公園リレーマラソン	リレーマラソンに参加し完走することができた。
写真部	7月1日	お写ん歩	唐戸市場、海響館で写真撮影。雨上がりの門司港周辺を散歩した。
陸上部	9月24日	PayPayドームリレーマラソン	5時間耐久レースで少人数にもかかわらず、60km走ることができた。
軟式野球部	5月24日	北九州メディカルリーグ	三萩野球場にて、試合が行われ、7-3で本学の勝利となった。

小倉南区キャンパス

クラブサークル名称	活動日付	活動名	活動内容
陸上競技部	9月24日	PayPayドームリレーマラソン	5時間耐久レースで少人数にもかかわらず、60km走ることができた。
軟式野球部	5月24日	北九州メディカルリーグ	三萩野球場にて、試合が行われ、7-3で本学の勝利となった。
	7月24日	北九州メディカルリーグ	4対0 勝利
バドミントン部	10月14日	令和5年度北九州市D級バドミントン大会	ペア戦績 優勝、ベスト16
男子バスケットボール部	12月2日	北九州・下関地区大学体育大会	北九州市立大学にて大会が開催された。
45-m (同好会)	7月8日	小中学生野球部に対する障害予防活動	小中学生に対するストレッチ指導や身体測定、個人結果に対するフィードバックを行った。
	7月17日	日本理学療法学生協会主催 PT agora	今回45mから代表者4名がイベントに参加した。全国から集まった高い目標を掲げている同年代の学生、現場(臨床や企業など)で働く理学療法士と熱く語り合った。
	3月2日	少年野球チーム対象の食育指導および野球肘検診の見学	成長期に必要な栄養素やアスリートに対する栄養の大事さなど学んだ。野球肘検診では小学生、中学生の投球障害予防に必要なものであると感じた。
	3月17日	少年野球チームフィジカルチェック	野球選手に現状を把握するためにフィジカルチェックを実施した。

「大学職員のピア・ラーニング(Peer Learning)」

～職員勉強会報告～

Staff Development (以下SD) の義務化(大学設置基準)は大学職員に対する更なる大学運営参画への期待の現れとも受け取ることができる。本学ではSDが義務化される以前より、全学的なSD研修会や、他大学との連携SD研修会、また、SDとは銘打っていないがSDに近いものとして教職員研修会を定例開催してきた。

こうした全学的なインプットの機会も非常に有用ではあるが、どうしてもその場限りの学習になり、通常業務に戻るといつも通りの業務、マインドに戻ってしまうという課題も感じていた。こうした課題を解決するために、南区キャンパスでは、令和3年度より有志職員による勉強会(ミニSD研修)を開始した。勉強会では、単なる知識の修得に留まらず、その知識やアイデアを実務に活かす、実践するという点を重視している。大学職員に必要とされる力の講読会や、広報テクニックの共有と実践、広報資料作りのグループワーク、架空ケースに基づくディベート等、様々なことを実践してきた。こうした取り組みを通して、大学職員としてのスキルアップはもとより、部署を超えての職員同士の関係性構築にも大きな影響があった。

参加者自身で創っていく勉強会として、まだまだ手探り状態ではあるが、参加者それぞれが自分事として勉強会を捉え、自主的に参加している姿勢に、同僚として大変心強く感じると同時に参加職員の成長を実感している。

コロナ禍の功罪か、2年目からはオンラインを活用して北区キャンパス職員も加わることができた。部署、キャンパスを超えた様々なメンバーとのディスカッションは非常に新鮮で、新たな視点に気付かされることが多い。これからは職員同士がともに学び、それを実践する場を持ち、大学運営に大きく貢献できる職員力を培っていきたい。

(報告；南区キャンパス学生部次長 室井廣大)



チームワーク実習



ディベートの実践

【令和5年度 職員勉強会(ミニSD研修) 実施内容】

第1回	5月16日	『イントロダクション・グループワーク(理想の職員像について考える)』
第2回	5月30日	『コミュニケーション技術の実践 ～人に伝える～』
第3回	6月27日	『広報資料作成① ～学部・学科の強みや特色をまとめよう～』
第4回	7月11日	『広報資料作成② ～学部・学科の強みや特色をまとめよう～』
第5回	7月25日	『広報資料作成③ ～まとめた資料でプレゼンしよう～』
第6回	8月8日	『ディベート準備① 『学校法人の合併か、否か』
第7回	8月22日	『ディベート準備② 『学校法人の合併か、否か』
第8回	9月15日	『ディベート実践 『学校法人の合併か、否か』
第9回	9月28日	『ディベート振り返り・後期内容の検討』
第10回	10月11日	『ブランドについて考える①』
第11回	11月15日	『ブランドについて考える② ミッション・ビジョン・バリューについて①』
第12回	11月29日	『ミッション・ビジョン・バリューから自分たちのあるべき姿を考える』
第13回	12月13日	『アイデアの拡散から集約まで～プレストの実践～』
第14回	1月17日	『キャンパス統合案を考えてみよう①』
第15回	2月7日	『リーダーシップについて考えよう ～サーバント・リーダーシップ～』
第16回	2月21日	『ワールドカフェ ～大学職員像について話してみよう～』
第17回	3月6日	『キャンパス統合案を考えてみよう②』

※各回でテーマ自由の個人プレゼン(3分～5分)を実施

※グループワークを多用したため、上記日程以外でも各グループ単位での資料作成やディスカッションを実施

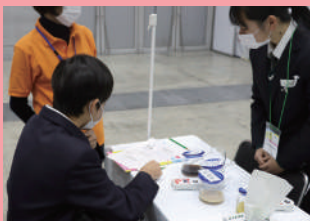
北九州市主催の『北九州ゆめみらいワーク2023』が12月7日、8日に開催され、今回も本学は全学科がブース参加しました。会場全体の来場者数は合計で9,158人に上り(昨年7,554人)、本学ブースにも多くの中学生・高校生が来場してくれました。各学科ブースでは、学ぶ内容に即した体験企画が実施されており、参加者はそれぞれの企画に興味津々の様子で、各分野への理解を深めていました。また、両日とも本学の学生スタッフが多数参加しており、参加者と企画を通して交流を広げ、本学の魅力、実際のキャンパスライフ等の情報を伝えることができました。(報告;企画広報課)

『北九州ゆめみらいワークとは』(北九州市ホームページより)

早い段階から仕事や進学について考え、地元の魅力を知るイベントとして多くの地元企業や大学等に出展いただき、職業体験や社会人との交流などを通じて、若者の職業観の醸成や地元企業・大学等への理解促進、将来の地元就職につなげることを目指すイベントです。

食物栄養学部

サステナブルで健康的な食生活の意義について学ぶことができる体験型ブースとして、学生目線での持続可能な「食」や「環境」面での提案を行い、握力測定や糖度測定も体験してもらいました。



専攻科

介護の世界を楽しもう!をテーマに、血圧や脈拍の測定、車いすの介助、缶パッチの作成等を行いました。



リハビリテーション学部

理学療法士・作業療法士になるための学びや仕事を知り、体験できるように設定。骨の模型を使ったパズルや、患者さまを支援する療法士体験してもらいました。



テーピング体験コーナー
ゲームリハビリコーナー
など



食物栄養学科



日頃食べている食品・おやつ・飲み物について、含まれる栄養素や働き、成分について説明。また、乳化の原理を学び、ハンドクリーム作りを行いました。



保育学科



体験・交流型のワークショップで、製作活動、現役保育学科生や教員との交流等を楽しんでいただきました。製作した物はお持ち帰りができ、大変喜ばれました。



2025(令和7)年度 入試日程・オープンキャンパス

※受験の際は募集要項を必ずご確認ください。

大学院・九州栄養福祉大学

入試区分	出願期間	試験日	合否発表日	入学手続き完了日
第1回	令和6年9月24日(火)～9月28日(土)	10月5日(土)	10月18日(金)	11月2日(土)
第2回	令和7年1月8日(水)～1月18日(土)	2月1日(土)	2月19日(水)	2月28日(金)

編入学・九州栄養福祉大学

入試区分	出願期間	試験日	合否発表日	入学手続き完了日
第1回	令和6年9月24日(火)～9月28日(土)	10月5日(土)	10月18日(金)	11月2日(土)
第2回	令和6年12月2日(月)～12月7日(土)	12月14日(土)	12月23日(月)	1月18日(土)

専攻科・東筑紫短期大学

入試区分	出願期間	試験日	合否発表日	入学手続き完了日
第1回(学内志願者のみ)	令和6年8月1日(木)～8月7日(水)	8月17日(土)	8月28日(水)	書類手続きのみ 9月7日(土) ・前期学費納入期限 1月31日(金)
第2回	令和6年10月26日(土)～11月2日(土)	11月22日(金)	12月6日(金)	書類手続きのみ 12月21日(土) ・前期学費納入期限 1月31日(金)
第3回	令和6年12月2日(月)～12月7日(土)	12月14日(土)	12月23日(月)	1月31日(金)
第4回	令和7年2月25日(火)～3月1日(土)	3月6日(木)	3月17日(月)	3月24日(月)

九州栄養福祉大学

入試区分	出願期間	試験日	合否発表日	入学手続き完了日
総合型選抜	(申込期間) 令和6年9月2日(月)～9月10日(火) ※出願 11月4日(月)～11月8日(金)	9月21日(土) 10月12日(土)	(合格内定結果通知日) 11月2日(土) (合否通知) 11月11日(月)	11月30日(土)
学校推薦型選抜(前期) 社会人選抜(前期)	令和6年11月1日(金)～11月13日(水)	11月22日(金)	12月6日(金)	12月21日(土)
学校推薦型選抜(後期) 社会人選抜(後期)	令和6年12月2日(月)～12月7日(土)	12月14日(土)	12月23日(月)	1月18日(土)
一般選抜(前期)	令和7年1月8日(水)～1月18日(土)	2月1日(土)	2月19日(水)	入学手続き書類及び入学金 2月28日(金) ・前期学費納入期限 3月8日(土)
大学入学共通テスト利用選抜(前期)	令和7年1月8日(水)～1月25日(土)	個別試験なし	※一般選抜(前期)と同じ	※一般選抜(前期)と同じ
一般選抜(後期)	令和7年2月25日(火)～3月1日(土)	3月6日(木)	3月17日(月)	3月24日(月)
大学入学共通テスト利用選抜(後期)	令和7年2月25日(火)～3月5日(水)	個別試験なし	※一般選抜(後期)と同じ	※一般選抜(後期)と同じ

東筑紫短期大学

入試区分	出願期間	試験日	合否発表日	入学手続き完了日
総合型選抜	(申込期間) 令和6年9月2日(月)～9月10日(火) ※出願 11月4日(月)～11月8日(金)	9月21日(土) 10月5日(土)	(合格内定結果通知日) 11月2日(土) (合否通知) 11月11日(月)	11月30日(土)
特待生選抜	令和6年9月24日(火)～10月3日(木)	10月12日(土)	10月25日(金)	11月9日(土)
学校推薦型選抜(前期)	令和6年11月1日(金)～11月13日(水)	11月22日(金)	12月6日(金)	12月21日(土)
学校推薦型選抜(後期)	令和6年12月2日(月)～12月7日(土)	12月14日(土)	12月23日(月)	1月18日(土)
一般選抜(前期) 社会人選抜(前期)	令和7年1月8日(水)～1月18日(土)	2月1日(土)	2月19日(水)	入学手続き書類及び入学金 2月28日(金) ・前期学費納入期限 3月8日(土)
大学入学共通テスト利用選抜(前期)	令和7年1月8日(水)～1月25日(土)	個別試験なし	※一般選抜(前期)と同じ	※一般選抜(前期)と同じ
一般選抜(後期) 社会人選抜(後期)	令和7年2月25日(火)～3月1日(土)	3月6日(木)	3月17日(月)	3月24日(月)
大学入学共通テスト利用選抜(後期)	令和7年2月25日(火)～3月5日(水)	個別試験なし	※一般選抜(後期)と同じ	※一般選抜(後期)と同じ



オープンキャンパス 2024

参加申し込みはホームページから



九州栄養福祉大学

食物栄養学部

小倉北区キャンパス

7/13(土) 10:00～
8/3(土) 10:00～
8/24(土) 10:00～

リハビリテーション学部

小倉南区キャンパス

無料 小倉駅・下曾根駅から
送迎バス運行(予定)

7/13(土) 10:00～
8/4(日) 10:00～
8/25(日) 10:00～

東筑紫短期大学

保育学科・食物栄養学科

小倉北区キャンパス

7/13(土) 10:00～
8/3(土) 10:00～
8/24(土) 10:00～



研究棟(完成予想図)

H I R A K U
拓く

発行 九州栄養福祉大学 URL <https://www.knwu.ac.jp/>
東筑紫短期大学 URL <https://www.hcc.ac.jp/>

発行日 初版 第1刷 令和6年6月20日
第2版 第1刷 令和6年7月10日
編集 企画情報室



JUNIOR COLLEGE
ACCREDITED
2022



UNIVERSITY
ACCREDITED
2023